

28. 5. 25

平成 27 年度

事業報告書

社会福祉法人^{思陽財団}東京都同胞援護会

平成 27 年度事業報告

目 次

一	平成 27 年度事業報告	5
二	事業経営	11
1	保育支援系福祉サービスの経営	11
2	高齢者支援系福祉サービスの経営	29
3	障害者支援系福祉サービスの経営	67
4	児童・女性支援系福祉サービスの経営	84
5	医療事業の経営	98
6	収益事業の経営	101
7	社会貢献事業	102
8	人材育成事業	102
三	職員福利厚生制度	103
四	理事会及び評議員会	104
五	施設長会議及び各種委員会	108
六	事務局主要業務	129

平成 27 年度事業報告

平成 27 年度の日本の景気は、税収の伸びや雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復していますが、個人消費の長期停滞への不安や海外景気の下振れなど、今後の景気動向を左右する要因も多く、先行き不透明な状況が続いています。

国会において社会福祉法人改革を柱とした社会福祉法改正案が成立いたしました。また、持続可能な社会保障の確立に向けたさまざまな見直しや「子ども・子育て」の分野における待機児童解消に向けた対策など、多くの課題が議論されました。

当法人においては、引き続き利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保及び育成に努めました。

まず、施設運営については、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進いたしました。

老朽化した施設の更新については、立川福祉作業所の改築工事が完了となりました。

また新規の施設として、昭島市の同援はいじま保育園が竣工し、(仮称)昭和郷高齢者複合施設においても計画通り建設に向けた工事が進んでいます。

次に、人材の確保については、27 年度も新規学卒者の計画的な採用を進めてまいりました。また人材の育成については、新規職員から施設長まで階層別に法人研修を実施したほか、各支援系グループにおける分野別の研修、更には海外研修を行い、職員の資質向上に繋げました。

最後に昭島病院ですが、入院、外来共に患者数が減り、厳しい財政運営となりました。そうした中でも、地域包括ケアシステムの構築を目指し、関係医療機関等との連携を図るとともに、地域の中核病院の役割を担って参りました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

平成27年度 施設利用状況報告

平成27年12月31日現在

カテゴリー	種別	施設名	数 値 結 果							備 考
			定 員	(3月期 利用定員数)	12月 期定員数	年度利用定員 (12月期)	利用率	(27年度)	(26年度)	
児童福祉部	児童館	むかし保育園	168	180	181.5	53,370	294	107.4%	104.3%	3.1%
		東園	140	151	151.3	44,494	294	108.1%	105.4%	2.7%
		万葉公園	29	29	30.7	8,876	294	104.1%	98.1%	6.0%
		昭和緑地児童館	100	116	115.9	34,578	294	115.9%	115.7%	0.2%
		大山児童館	130	130	129.9	38,197	294	99.9%	101.4%	-1.5%
		昭和緑地二児童館	190	204	198.9	58,843	294	104.7%	108.9%	-1.8%
		みどり保育園	70	71	72.0	21,769	294	103.9%	100.8%	3.1%
		阿蘇みどり児童館	125	130	130.0	38,220	294	104.0%	103.8%	0.2%
		つづみ保育園	110	136	134.9	39,637	294	123.6%	118.6%	5.0%
	阿蘇みどり保育園	108	120	120.0	35,280	294	111.1%	112.9%	-1.8%	
児童館数計		1,000	1,087	1,083.0	218,414	—	108.7%	107.8%	0.9%	
高齢者福祉部	高齢者ホーム	万葉敬老園	300	198	198.8	72,505	366	98.4%	99.9%	-0.9%
	新老人ホーム	ザンホーム	50	50	49.9	18,270	366	99.8%	100.0%	-0.2%
		つゆホーム	50	38	37.3	11,400	366	83.3%	72.7%	-10.4%
	介護施設	新藤荘	100	100	99.5	35,428	366	99.5%	99.0%	0.5%
	小 計		400	376	377.4	138,103	—	94.4%	96.0%	-1.6%
	有償高齢者ホーム (施設入居生活介護事業 費含む)	つづみホーム	504	101.2	98.8	36,150	366	91.0%	94.9%	0.1%
		ニューアジホーム	104	98.2	98.6	35,988	366	94.8%	93.4%	1.4%
		遠野ホーム	52	52.2	52.1	19,574	366	120.2%	98.1%	1.1%
		ゆたか苑	54	51.8	52.2	19,114	366	96.7%	96.6%	0.1%
		ひかり苑	54	54.8	53.3	19,490	366	98.5%	98.4%	-0.8%
小 計		368	358.2	355.0	129,316	—	96.5%	96.0%	0.5%	
高齢福祉課	認知症対応型老人 用生活介護事業 (アルファホーム)	かんて	8	8.0	8.0	2,940	366	89.4%	90.7%	-1.2%
		遠野グループホーム	18	17.9	17.6	6,459	366	98.0%	98.0%	0.0%
	老人 サービスセンター	つづみサービスセンター	20	19.2	17.0	5,367	366	87.9%	87.6%	0.3%
		つづみサービスセンター	10	5.2	5.9	1,810	366	38.5%	67.7%	-9.7%
		遠野サービスセンター	12	6.0	6.7	2,090	310	81.9%	58.7%	-2.8%
		東大和町よみあひサービスセンター(ひかり苑)	12	7.7	8.7	2,703	366	72.9%	68.1%	7.8%
	高齢福祉支援センター	新藤荘認知症高齢者総合支援センター	—	672円	287円	12,271円	366	—	12,668円	(-3.9%)
		新藤荘中核地域包括支援センター	—	230円	232円	8,716円	290	—	15,272円	(-5.4%)
	高齢介護支援事業部	アジホーム	—	74	3.8	951	240	—	1,013	(-6.1%)
		遠野ホーム	—	82	3.1	918	288	—	813	(6.7%)
ゆたか苑		—	87	4.2	1,009	240	—	1,000	(-2.0%)	
ひかり苑		—	48	2.0	485	240	—	381	(27.3%)	
小規模多機能型 居宅介護事業部	居宅介護多機能型 居宅介護センター	25	22	21.2	7,748	366	94.7%	62.9%	21.8%	
小 計		311	274.3	288.2	22,330	—	—	—	—	
公益事業	アジホーム新藤荘	—	—	—	—	—	—	—	—	
	介護職員処遇改善事業費	—	—	—	—	—	—	—	—	
高齢者数計		879	1,109	893.6	300,390	—	93.2%	93.3%	0.0%	

注1 定員については各子施設定員は定員数で施設数は人数。

注2 高齢包括支援センターは、施設数を記載、円単位は、施設内容により記載している。なお、利用者の合計には算入していない。

ゾ ン 別	種 別	施設名	科 用 世 界								備 考
			定員	(3月期) 利用者 数	利用者 数/定員 率	(3月期) 利用者 数 (一人 あたり)	利用者 数/定員 率	(3月期) 利用者 数 (一人 あたり)	(3月期) 利用者 数 (一人 あたり)	増減 率	
健 育 世 帯	児童発達支援(入所)	2中本園(現化)	施設入所定員	96	84.9	88.3	31,581	368	89.0%	91.8%	-1.7%
	児童発達支援サービス(通所)	2中本園	生活合課	106	84.3	86.7	23,397	270	80.3%	83.1%	-2.8%
			施設入所	4	43	1.3	482	368	31.0%	26.9%	4.9%
		小浜保育園	生活合課	40	27.4	30.4	7,419	244	75.0%	80.8%	-4.8%
	立川福祉作業所	児童福祉課生活課	30	27.3	37.4	6,685	244	91.3%	97.4%	-6.1%	
		生活合課	30	28.3	25.9	6,988	270	88.3%	85.3%	0.4%	
		児童福祉課生活課	35	34.5	32.6	8,809	270	83.2%	94.8%	-1.6%	
		児童福祉課生活課	10	10.3	9.3	2,520	270	89.3%	90.8%	0.7%	
		児童福祉課生活課	30	28.1	27.9	6,746	243	82.9%	91.3%	1.4%	
	東村山生活介護所	児童福祉課生活課	10	9.4	9.1	3,202	243	91.0%	112.3%	-21.3%	
		施設入所	2	24	0.7	261	368	25.7%	34.1%	1.6%	
	心身障害者の福祉ホーム	心のんぼ		—	263	8.4	3,086	368	—	2,467	(25.1%)
	身体障害者の福祉センター	おいおい福祉センター		—	728	26.9	3,859	368	—	10,717	(-8.0%)
民 生 世 帯	民間生活福祉事業 (知的障害者グループホーム)	アビリティハウス	8	8	8.0	2,196	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		グリーンハイフ	8	8	8.0	2,196	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		フレンド・モエ	8	8	8.0	1,820	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		パル	8	8	8.0	2,196	368	100.0%	95.7%	4.3%	
		北の山ゆめ小川	7	7	7.0	2,362	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		ファーム村道1	8	8	8.0	2,196	368	100.1%	93.8%	6.3%	
		ファーム村道2	7	8	8.7	2,454	368	95.9%	100.3%	-4.1%	
		レノオンス機構	4	4	3.8	1,387	368	94.7%	100.3%	-5.3%	
		ほなみずき	4	4	4.0	1,464	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		ユーゴ	4	4	4.0	1,464	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		夢イハテ	8	8	8.0	2,196	368	100.0%	98.8%	1.4%	
		絆イハテ	8	8	8.0	2,196	368	100.0%	100.0%	0.0%	
		障害者施設計		264	1,858	439.4	134,596	—	90.1%	92.5%	-1.8%
児 童 ・ 女 性 支 援 系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	20	18	17.6	6,396	368	87.4%	92.0%	-4.6%	
		緊急一時保護事業	1	0	0.3	122	368	33.3%	55.8%	-22.3%	
		サンライズ青山	20	8	8.1	2,947	368	40.3%	64.8%	-24.1%	
		緊急一時保護事業	1	3	0.3	63	368	17.2%	13.7%	3.5%	
		サンライズ大宮	20	18	18.8	6,878	368	94.0%	95.8%	-1.8%	
		緊急一時保護事業	2	0	0.3	75	368	10.2%	3.8%	6.4%	
	児童発達施設 (地域小規模) (地域小規模)	児童館	50	49	49.8	18,216	368	99.5%	96.3%	3.2%	
		児童館	(38)	(38)	37.8	13,824	368	99.4%	95.8%	3.6%	
		高崎の家	(8)	(8)	8.0	2,196	368	100.0%	99.3%	0.7%	
		くすのき	(8)	(8)	8.0	2,196	368	100.0%	96.3%	3.7%	
	児童発達施設	いっいの家	40	7	11.5	4,219	368	28.8%	22.3%	6.5%	
	児童福祉施設	朝霧市児童センターぽれっ	—	5,278	181.6	63,420	368	—	64,732	(-2.0%)	
	児童発達支援事業	つづみ児童発達支援クラブ	50	768	31.8	3,387	294	63.9%	55.3%	8.0%	
児童・女性施設計		208	6,137	229.8	111,743	—	70.4%	71.7%	-1.3%		
施設合計		2,441	8,791	2,683.0	684,900	—	96.0%	96.2%	-0.2%		
民 生 世 帯	児童館	児童館	199	15,392	589.7	178,864	368	—	181,878	(-2.8%)	
		入所	199	4,117	125.7	48,018	368	83.2%	68.3%	-6.1%	
		外出	—	11,275	464.0	130,846	292	—	131,808	(-0.9%)	
		訪問支援ステーション	—	218	10.4	3,259	292	—	3,419	(-4.7%)	
公 益 性	印刷	事業局	—	—	—	—	—	—	—	—	
	土地・建物賃貸	不動産賃貸事業	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計 (福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業29)		2,640	35,441	3,296.1	1,045,026	—	—	—	—	—	

平成27年度 職員配置状況報告(職員実人員数)

グループ名	種別	施設名	平成26年3月31日				27年度 (年度平均)	平成27年3月31日				備 考	
			正職員	契約	非常勤	職員数合計		正職員	契約	非常勤	職員数合計		
保 育 所	保 育 所	わかしの保育園	38	1	21	60	49.7	36	3	22	61	48.1	児童福祉課
		昭和園保育園	20	2	21	43	35.2	22	2	21	45	35.2	児童福祉課
		大山保育園	24	3	14	41	35.3	23	1	14	38	33.3	児童福祉課
		昭和園第二保育園	29	2	26	56	49.8	31	4	23	58	48.6	児童福祉課
		みほと保育園	18	2	4	24	22.9	19	1	6	26	23.0	児童福祉課
		同慶みどり保育園	23	5	19	47	39.8	25	5	19	49	40.0	
		つたがは保育園	27	1	16	44	37.7	25	2	17	44	35.9	児童福祉課
		同慶のひ保育園	26	0	24	50	38.2	24	1	24	49	36.7	児童福祉課
	保育施設計												
			205	18	147	368	308.6	205	19	146	370	300.8	
高 齢 者 支 援 課	養護老人ホーム	百合苑老園	21	6	21	48	44.5	18	7	24	49	43.3	児童福祉課
	軽度老人ホーム	サンホーム	8	8	6	22	18.2	8	8	6	22	18.1	
		ライトホーム	1	1	2	4	3.4	1	1	1	3	2.7	
	介護施設	桜島荘	36	3	8	47	45.8	36	2	10	48	45.3	児童福祉課
	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護事業 会)	アジホーム	34	16	19	69	61.5	30	23	14	67	61.0	児童福祉課
		ニューアジホーム	44	6	23	73	68.5	41	10	24	75	67.5	児童福祉課
		藤野ホーム	20	3	16	39	37.3	19	5	15	39	37.7	児童福祉課
		ゆたか苑	25	2	14	41	34.8	23	3	14	40	36.9	児童福祉課
		ひかり苑	21	13	9	43	41.3	22	11	9	42	40.4	
	認知症対応型老人 共同生活介護事業 (グループホーム)	かえせ	2	4	3	9	8.0	3	4	3	10	8.9	
		藤野グループホーム	4	3	16	23	18.2	4	3	15	22	19.0	
	老人サービスセンター	アジ・デイサービスセンター	3	0	11	14	11.0	3	1	11	15	11.5	
		アジ・デイホーム	1	1	4	6	7.4	1	1	4	6	6.7	
		藤野デイサービスセンター	0	1	4	7	6.6	0	1	10	11	9.7	
		東大和市ふれあい・デイセンター ひかり苑	0	4	6	10	8.0	1	2	6	9	7.1	
	地域包括支援センター	新横浜運動高齢者総合相談センター	10	0	2	12	10.6	9	0	2	11	9.2	
		昭島市中部地域包括支援センター あいはら	3	0	3	6	5.2	3	0	3	6	5.0	
居宅介護支援事業所	アジホーム	1	0	2	3	2.6	1	0	2	3	2.7		
	藤野ホーム	2	0	0	2	2.0	2	0	0	2	2.0		
	ゆたか苑	1	1	0	2	2.0	1	1	0	2	2.0		
	ひかり苑	1	0	0	1	1.0	1	0	0	1	1.0		
小規模多機能型 居宅介護事業	藤野小規模多機能型居宅介護センター	4	2	9	15	11.9	3	2	6	11	10.8		
公益事業	アジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	介護職員初任者研修事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
高齢者施設計			242	74	182	498	447.8	230	85	181	496	448.5	

グループ名	種別	施設名	平成28年3月31日				27年度 (平成27年度実績)	平成27年3月31日				26年度 (平成26年度実績)	備 考
			正職員	契約	非常勤	職員数合計		正職員	契約	非常勤	職員数合計		
障 害 者 支 援 系	障害福祉サービス	中野区	57	12	41	110	90.6	57	12	34	103	80.0	
		小浜町福祉圏	32	2	4	38	35.9	31	2	2	35	34.9	
		立川福祉作業所	11	3	12	26	21.2	11	3	11	24	22.0	障害者施設
		東村山生活実習所	12	7	11	30	26.1	12	6	10	28	24.1	障害者施設
	心身障害者福祉ホーム	おのんぼ	13	3	6	21	18.9	12	1	7	20	16.6	障害者施設
	身体障害者福祉センター	おいおい福祉センター	21	0	19	40	27.0	19	0	20	39	26.6	
	共同生活援助事業 (知的障害者グループホーム)	アミニティ富士見	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		グリーンハイブ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		スルビズ・モエ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		パル	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		せいのぞの川	—	(2)	—	0	—	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹原1	—	(2)	—	0	—	—	(2)	—	0	—	
		ファーム竹原2	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		レゾナンス美穂	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
		ほなみずき	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—	
ユーカリ		—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—		
夢のハナ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—			
結のハナ	—	(1)	—	0	—	—	(1)	—	0	—			
障害者施設計			146	26	93	265	219.6	142	23	84	249	202.3	
児 童・ 女 性 支 援 系	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野	6	4	4	14	10.4	7	4	2	13	11.2	
		サンライズ青山	7	1	5	13	9.1	7	3	5	15	10.8	
		サンライズ万葉	7	4	4	15	13.0	6	4	6	16	12.8	
	児童養護施設 (地域小規模)	友愛園	23	7	11	41		22	5	10	37		
		高橋の家	4	0	0	4	42.1	4	0	0	4	38.5	
		くすのき	4	0	0	4		4	0	0	4		
	婦人保護施設	こいの家	7	4	4	15	12.1	8	3	4	15	11.3	障害者施設
	児童厚生施設	群馬市児童センターぱれっと	4	0	7	11	8.1	3	0	7	10	7.5	
	放課後児童健全育成事業	つっこが広北児童クラブ	0	0	6	6	3.9	0	0	6	6	3.8	
	児童・女性施設計			62	20	41	123	98.7	61	19	40	120	95.9
施設合計			655	136	483	1,254	1,074.7	638	146	481	1,235	1,047.4	
医 療 系	延命病院	延命病院	177	0	139	316		189	0	136	325		
		訪問看護ステーション	4	0	2	6	252.2	4	0	2	6	259.0	
収 入 系	印刷	事業場	14	2	1	17	16.0	13	0	2	15	15.0	
		土地・建物賃貸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合 計			850	138	625	1,593	1,342.9	844	146	581	1,581	1,321.4	

注1 福祉院等の業務委託や派遣職員は算入していない。

注2 共同生活介護・共同生活援助の職員配置は、委託事業のための職員数および実働時間には含まない。

二 事 業 経 営

1 保育支援系福祉サービスの経営

保育所を経営しました。

【グループ総括】

- 1 年度当初より待機児解消の為、弾力入所を積極的に行いました。また、新園立ち上げにより総定員が増えました。
- 2 育児困難家庭、要配慮児への対応等、保育所の果たす役割を十分発揮しながら、保護者支援をするとともに専門機関との連携・協働を図りました。
- 3 地域子育て支援の拠点として、子育て力の向上を目指し、情報や場所の提供に努めました。合わせて、子育て相談の内容に応じて専門機関の紹介等も行いました。
- 4 保育グループ研修、各施設の研修計画に基づいた研修を実施し、多様なサービスを提供できる人材の育成に取り組み、職員の質の向上に努めました。
- 5 保育園の安全対策について、BCPに基づく訓練と整備、見直しを行い、利用者の安心、安全に努めました。
- 6 今年度から施行された「子ども・子育て支援新制度」に伴い、研修参加や情報収集に努め、新たな制度に合わせた適切な対応を行いました。
- 7 新保育園開設に向け、保育理念、方針を確実にし、質の高いサービスを目指した保育園作りに取り組むことができました。

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 むさしの保育園

定員 169名

利用者 年間稼働率 107.4%

*目標稼働率 107.9%

【施設運営状況】

- 1 2～5歳児の定員の弾力化を行い、待機児解消に努めました。
- 2 要配慮児への支援については、専門機関と連携を深め、情報の共有を図りながら対応に努めました。
- 3 一時保育が地域に広まり利用者が増え、子育て応援券での利用者も多く、地域に向け育児支援も行うことが出来ました。
- 4 園内研修の充実を図ると共に、外部研修等にも積極的に参加し、それを保育に活かし保育の質を高めるよう、職員の資質向上を図りました。
- 5 安全対策としてBCPを見直しながら、訓練を行うと共に、利用者の安全に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 縦割り保育の中で子ども達が自主的に異年齢児とかかわりが持てるよう、保育環境を整え、行事を行いました。
- 2 自然に多く触れ合う中で子どもの発見を大切に、小動物との触れ合いや飼育を通し、命の大切さや豊かな心を育てました。
- 3 戸外での活動を増やし、子どもの健康な体作り、体力向上に努めました。
- 4 「子ども・子育て支援新制度」施行に伴い、研修に参加したり情報を共有することで、適切な対応をしました。
- 5 保育所体験や育児講座等、園内の知識を活かし、地域の子育ての拠点となれるよう努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
ランチルーム机	990	分園調理場エアコン	339
		ランチルーム机	547
購入等合計	990	購入等合計	886
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
パソコン2台	340	パソコン2台	212
購入等合計	340	購入等合計	212
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		パソコン3台	388
		シュレッダー	309
購入等合計	0	購入等合計	697

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	98	91	91	90	91	91	88	88
女児	97	90	90	90	90	89	92	92
合計	195	181	181	180	181	180	180	180

12月	1月	2月	3月	計
88	88	88	88	1,080
92	92	92	92	1,098
180	180	180	180	2,178

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	23	32	34	27
平成26年度	23	32	34	27
平成27年度	23	33	35	30

4歳児	5歳児	計
28	25	169
28	25	169
29	30	180

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷保育園

定員 100名

利用者 年間稼働率 115.9%

*目標稼働率 116.0%

【施設運営状況】

- 1 年間を通して途中の入退園はありましたが、すぐに入園に繋がり稼働率は約116%と安定しており、待機児解消に努めました。
- 2 園内外の補修等については必要な箇所は予定通り実施出来、安全な保育環境を整えることが出来ました。
- 3 「子ども・子育て支援新制度」開始にともない、説明会等の参加や準備が出来ていたので、適切な対応が出来ました。
- 4 研修計画に基づき、個々の役割と業務に合わせた園内外の研修の実施や参加が出来、職員育成に繋がりました。
- 5 職員の危機管理について意識を高められるよう全体で努め、緊急時に備えBCPIに沿った訓練と確認、見直しが出来ました。

【利用者支援状況】

- 1 保育計画にそった子ども一人ひとりの成長に合わせた保育で、多くの体験が出来、豊かな感性と子どもの生きる力が育ちました。
- 2 家庭的な雰囲気の中で健康で情緒が安定した生活が出来るよう、充実した保育内容と豊かな環境づくりに努めました。
- 3 日常保育や行事、施設訪問などで異年齢児、高齢者、地域の方々と関わる中でやさしさや思いやりの気持ちが育ち、一緒に過ごしたり接することが出来ました。
- 4 ひとつの活動を集中して取り組み、最後までやり通す力をつけられるように様々な活動が出来る環境を整えることが出来ました。
- 5 子育て支援の拠点として、情報の発信や要望に対して育児講座等を開催し相談などにも応じることが出来ました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
遊戯室舞台照明装置	910	遊戯室舞台照明	702
		遊戯室緞帳電動化工事	378
購入等合計	910	購入等合計	1,080
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
照明器具交換	800	照明器具交換	793
購入等合計	800	購入等合計	793
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
食器洗浄機	1,350	防犯カメラ一式	1,048
購入等合計	1,350	購入等合計	1,048

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	53	52	51	51	51	51	51	51
女児	63	64	65	64	65	65	65	65
合計	116	116	116	115	116	116	116	116

12月	1月	2月	3月	計
51	51	51	51	615
65	65	65	65	776
116	116	116	116	1,391

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	11	16	23	24
平成26年度	11	16	23	24
平成27年度	11	16	22	22

4歳児	5歳児	計
24	18	116
21	22	117
24	21	116

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 **大山保育園** 定員 **130**名

利用者 年間稼働率 **99.9**% *目標稼働率 100.0 %

【施設運営状況】

- 1 新園舎になり定員130名でスタートしました。
- 2 新園舎のため危機管理の徹底を図り、園児・保護者の安心、安全に繋げ園生活が快適にできるように努めました。
- 3 行事を通し、地域の方との交流・高齢者施設訪問・高齢者による絵本の読み聞かせ等積極的に取組ました。
- 4 職員の育成は年間研修計画に沿って参加し、個々のスキルアップに繋げ質の向上に努めました。
- 5 利用者アンケート調査の結果を踏まえ保育サービスの見直し、改善に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの成長に合わせ支援することで、意欲的に活動ができるよう取り組みました。たくましく生きる力を目標に保育の充実に努めました。
- 2 家庭と保育園の連携を密にし、子どもの様々な経験を成長へと繋げました。
- 3 近隣の大学生・実習生・小中学生のボランティアの受け入れ交流を図り、お互いが刺激となりました。やさしいところ・豊かなところの発達に繋げることができました。
- 4 長時間保育の子どもが多くなり、担任と保護者の連携をとること、クラス保育を延長しできる限り担任が保護者と直接話ができるように配慮することで、保護者と子どもの安心感に繋がられました。
- 5 新園舎の危機管理としての防災訓練やBCPに沿った訓練行い、安全面に配慮しました。職員全員が救命救急の講習を受け、救命技能認定証を取りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
パソコン	600	パソコン	287
購入等合計	600	購入等合計	287
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
PCタッチパネル	550	登降園端末 （タッチパネル）	420
購入等合計	550	購入等合計	420
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
アルミステージ	850		
購入等合計	850	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		アルミステージ	897
		パソコン	435
		乳児ワゴン	120
購入等合計	0	購入等合計	1,452

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	72	71	71	71	71	71	71	71
女児	58	59	59	59	59	59	59	59
合計	130	130	130	130	130	130	130	130

12月	1月	2月	3月	計
71	71	71	71	853
59	58	59	59	706
130	129	130	130	1,559

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	12	20	21	24
平成26年度	12	20	21	24
平成27年度	15	20	23	24

4歳児	5歳児	計
24	24	125
24	24	125
24	24	130

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 昭和郷第二保育園

定員 190名

利用者 年間稼働率 104.7%

*目標稼働率 104.0%

【施設運営状況】

- 1 児童福祉法「子ども・子育て支援新制度」に基づき、本園を利用する乳児及び幼児が健やかに育成されるよう教育及び保育の提供を行ないました。
- 2 年間を通して入所定員の弾力化を行い待機児童解消に努めました。年度末には204名の乳幼児を受け入れ、3月の月間利用率は107.4%となりました。
- 3 BCPに基づく訓練、安全衛生対策とリスクマネジメント委員会活動の充実を図りました。又、北園舎の使用区分変更に伴い、園庭にフェンスを設置し園児の安全確保に努めました。
- 4 園児の人権擁護、虐待防止、多様なサービスと質の高い保育が提供できるよう、研修の充実を図り職員の能力向上に努めました。
- 5 保護者に対して重要事項説明書で説明を行ない、保育サービス第三者評価を受審、公表するなど情報公開を行ないました。

【利用者支援状況】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重した経験や体験、文化の伝承から生きる力の基礎を養い、豊かな心を持った健康で逞しい子どもの育成を目指し保育しました。
- 2 異年齢、同年齢で遊ぶ中での育ちを見守りながら、保育士の適切な言葉かけや対応から自分で考え判断できる子ども、社会性のある子どもの育成に努めました。
- 3 園庭に大型木製遊具を設置しました。このことにより、子どもの遊びの幅が広がり運動量も増加、運動能力の向上が期待されます。
- 4 ちびっこ広場や園庭開放の日数を増やして実施することにより、地域未就園児保護者の子育て支援に努めました。
- 5 核家族化が進む中、見守り隊のお年寄りや地域のよさこいグループ、ボランティアとの世代間交流により、園児の思いやりの心を育みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
沐浴室エアコン設置	800	沐浴室エアコン設置	842
購入等合計	800	購入等合計	842
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
外壁木部塗装	600	外壁木部塗装	516
購入等合計	600	購入等合計	516
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
園庭固定遊具設置（幼児）	4,000		
音環境改善工事	800		
購入等合計	4,800	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		園庭固定遊具設置（幼児）	3,950
購入等合計	0	購入等合計	3,950

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	88	89	90	91	91	91	91	92
女児	100	103	105	106	106	108	110	110
合計	188	192	195	197	197	199	201	202

12月	1月	2月	3月	計
93	93	93	93	1,095
111	111	111	111	1,292
204	204	204	204	2,387

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	31	32	37	30
平成26年度	31	32	37	30
平成27年度	31	35	37	34

4歳児	5歳児	計
36	32	198
36	32	198
37	30	204

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 **みなと保育園**

定員 **70**名

利用者 年間稼働率 **102.9**%

*目標稼働率 100.0 %

【施設運営状況】

- 1 乳児クラスは、各年齢とも1名増で保育を行いました。年度途中で海外赴任等の理由で退園がありましたが、利用率は年間を通して100%を超え、安定した運営ができました。
- 2 新制度の保育認定等の仕組みをしっかりと把握し、保護者の就労に臨機応変に対応することができました。（延長保育等）
- 3 第三者評価を受審し、利用者アンケートでは保護者の園に対する要望や改善点が明確になり、職員アンケートでは、保育に対する意識確認ができたことで、課題を整理し、改善に取り組むことができました。
- 4 区や関連機関と積極的に連携を図った結果、保護者との信頼関係が構築され、適切な支援が行えました。
- 5 園内外の研修に積極的に参加し、学んだ知識や技術を他職員にも伝え、現場で生かすことができました。園内研修では、カウンセリングについて学び、保護支援等コミュニケーション力の向上に役立てることができました。

【利用者支援状況】

- 1 園児一人ひとりを全職員で援助できるように、各会議で情報共有を行ったり、伝達方法をマニュアル化したことで保護者からの情報を含め、洩れなく伝え合うことができるようになってきました。
- 2 子どもの主体性や創造性を養うために、できるだけ多くの体験や経験ができるよう、会議で十分話し合い取り組みました。年長児には港区の就学前カリキュラムを取り入れ、一年を通してスムーズに小学校へ繋げられるような支援を行いました。
- 3 体験保育やベビーマッサージ等、地域支援としてニーズにあった支援に取り組みました。育児相談（離乳食についてなど）も一緒に行い、保育園の役割を果たすことができました。
- 4 保護者の保育参加を積極的に働きかけ、園での子どもの姿、集団での姿を観ていただくことで、子どもへの支援の状況を理解していただくことができました。また、父親の参加も増え、園への協力がより得られるようになりました。
- 5 近隣の消防署、警察署にご協力いただき、通報訓練や消火訓練、防犯訓練、交通安全指導など、緊急時対応がスムーズに行えるよう取り組みました。また、園外保育時の連絡用として携帯電話をクラス分用意したことで、怪我等の報告が速やかに行え、迅速な対応ができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
2歳児室手洗いシンク	999	2歳児室手洗いシンク	999
購入等合計	999	購入等合計	999
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
照明器具取替工事 下駄箱設置工事	2,300 1,586	エアコン改修設備工事	1,476
購入等合計	3,886	購入等合計	1,476
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
耐震工事 0.1歳児仕切り家具	41,472 1,500	下駄箱設置工事 照明器具取替工事	1,585 2,290
購入等合計	42,972	購入等合計	3,875
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		耐震工事	1,819
購入等合計	0	購入等合計	1,819

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	40	41	41	41	41	41	41	40
女児	30	32	32	32	32	32	32	32
合計	70	73	73	73	73	73	73	72

12月	1月	2月	3月	計
40	39	39	39	483
32	32	32	32	382
72	71	71	71	865

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	7	11	13	14
平成26年度	7	11	13	14
平成27年度	7	11	12	14

4歳児	5歳児	計
14	13	72
14	13	72
13	14	71

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 **同援みどり保育園** 定員 **125**名

利用者 年間稼働率 **104.0**% *目標稼働率 104.0 %

【施設運営状況】

- 1 昨年同様に定員の弾力化を行い、待機児解消に努めました。また、年間を通して安定した保育を行いました。
- 2 子ども達が安心・安全で快適な園生活ができるように、施設整備に努めました。また、防災マニュアルの見直しやリスクを想定した訓練や体験をする機会を設けました。
- 3 多様な保育サービスを提供する人材を育成するために、職員育成計画の作成に着手しました。そのことで保育グループとしての保育士のあり方など再確認し、より良い保育に繋げることができました。
- 4 「育児困難家庭」「要配慮児」への対応については、各専門機関と頻りに連絡を取り合い連携を強化して丁寧な保護者・園児への支援を心がけました。
- 5 今年度から施行された「子ども・子育て支援新制度」に関しても、情報を取り入れながら重要事項説明書や育児短時間対応等新たな仕組み作りをして、十分な対応を行いました。

【利用者支援状況】

- 1 成長・発達にあった集団ならではの遊びを多く取り入れ、子ども達の「心の成長」を大切にされた保育に心がけました。
- 2 保育環境を見直し、施設整備に努めました。特に延長保育室トイレ工事・2歳児床暖房設置工事等、安全で清潔な環境の提供をいたしました。
- 3 様々な年齢の子ども達や自然と交わる園内の様子には、長年行っている異年齢児およびお年寄りとの交流の成果が感じられました。また、保護者からも良い評価をいただきました。
- 4 第三者評価を受審し、その結果を真摯に受け止めて保育サービスの見直しに努めました。改善すべきことに素直に取り組んだことで、保護者の信頼を得られ保育の質の向上に繋がりました。
- 5 昨年同様に夜7時過ぎから8時まで延長保育を必要とする利用者が多く、安全な保育を提供する為に保育内容や保育士の勤務時間の変更などを工夫し、保護者の就労支援に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
事務室エアコン交換	500		
乳児室改修工事	1,500		
購入等合計	2,000	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
2歳児保育室床暖房工事	3,200	2歳児保育室床暖房工事	2,881
		乳児室改修工事	1,347
購入等合計	3,200	購入等合計	4,228
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
延長保育室トイレ改修工事	5,500	延長保育室トイレ改修工事	5,220
1歳児保育室ピアノ購入	550	事務室エアコン交換	390
購入等合計	6,050	購入等合計	5,610
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		園庭メンテナンス工事	670
購入等合計	0	購入等合計	670

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	76	76	76	76	76	76	76	76
女児	54	54	54	54	54	54	54	54
合計	130	130	130	130	130	130	130	130

12月	1月	2月	3月	計
76	76	76	76	912
54	54	54	54	648
130	130	130	130	1,560

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	12	19	24	25
平成26年度	12	19	24	25
平成27年度	12	19	24	25

4歳児	5歳児	計
25	25	130
25	25	130
25	25	130

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 **つつじが丘保育園**

定員 **110**名

利用者 年間稼働率 **122.6**%

*目標稼働率 119.9 %

【施設運営状況】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識技能を活かし、保育困難児の対応なども柔軟に行い、保護者と寄り添いながら保育を行っていくことに努めながら保育所の役割を果たしました。
- 2 子育て家庭支援のニーズが多様化していく中で、様々な機関や組織と連携し、それぞれの家庭に合った支援の充実に努めました。
- 3 待機児童の解消に向け、年度当初より積極的に受け入れ、入所定員の弾力化を図りました。
- 4 職員の育成計画、チューター制度、研修を充実させたり、研修で学んだ内容を共有し互いに切磋琢磨し合い、多様なサービスを提供できる人材の育成に努めました。また、保育園の安全対策を徹底し、子どもたちの安心安全を確保しました。
- 5 「子ども・子育て支援新制度」に合わせ、研修や勉強会に参加し、カリキュラムや保育の見直しも行い、総合的な保育の提供、子育て支援の充実に目指しました。

【利用者支援状況】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や精神面、家庭環境を把握し、生活リズムを整えると共に、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指し、就学を見据えた関わりに努めました。
- 2 行事や日々の保育の中で、『五感（味覚）を育む』というテーマをもとに様々な実体験を通した活動を取り入れることで、子どもの生きる力、感謝の気持ちを育てました。
- 3 子どもたちが実際に体験したことを様々な表現活動につなげ楽しむことで、子どもたちの豊かな感性を育てました。
- 4 縦割り保育の中や近隣の保育園、小学校や近隣のデイケアセンターと世代間の触れ合いを通して、子どもたちが共に生活し、互いに関わりながら、優しさや思いやりの気持ちが育つように援助しました。
- 5 子どもの発達や欲求に合わせた環境づくりに努めるとともに、安心安全の中で子どもたちが十分に遊び込め、満足する環境づくりを目指しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
プール目隠しフェンス	600		
2Fテラス防水	2,500		
購入等合計	3,100	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
給食室改修工事	7,700	日よけシェード一式	657
購入等合計	7,700	購入等合計	657
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
0歳児保育室改修工事	5,500	2階テラス防水	648
		1.2歳児保育室修繕	1,096
購入等合計	5,500	購入等合計	1,744
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
大型遊具塗装	600	給食室改修工事	3,585
		1.2歳児トイレ改修	2,494
購入等合計	600	購入等合計	6,079

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	65	67	67	67	67	68	68	68
女児	66	66	66	68	68	68	68	68
合計	131	133	133	135	135	136	136	136

12月	1月	2月	3月	計
68	68	68	68	809
68	68	68	68	810
136	136	136	136	1,619

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	20	21	24	22
平成26年度	20	21	24	22
平成27年度	21	23	26	22

4歳児	5歳児	計
23	22	132
23	22	132
23	21	136

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 **同援さくら保育園**

定員

108名

利用者 年間稼働率 **111.1**%

*目標稼働率

111.0 %

【施設運営状況】

- 1 待機児解消に向け今年度も弾力入所の受け入れをしました。年間稼働率は昨年より若干低くなり、111%となりました。待機児童の増加と共に一時保育の利用がさらに増え、地域の子育て支援・就労支援の充実に努めました。
- 2 「気になる子」や育児困難家庭への支援については、専門機関との連携を深め職員間での意識統一を図り対応していきました。
- 3 第三者評価を受審し、利用者アンケートでは昨年度より高い回収率と満足度となりました。それらの意見とさらに職員による園の自己評価と合わせて園の運営・保育の振り返りを行い、職員間の意識統一、課題改善に取り組みました。
- 4 職員の質の向上に向けて園内外の研修に参加し、学んだことを日々の保育へ活かせるように努めました。
- 5 新制度になったことで休日保育の月極めの登録が多くなりました。休日保育の利用の状況・課題点を区へ伝えていき、多くの方が利用しやすいよう改善に向けていきました。

【利用者支援状況】

- 1 保護者による一日保育士体験も3年目となり、継続することで我が子だけではなくクラス全体や他のお子さんの成長も実感している保護者が増えました。
- 2 子ども一人ひとりの発達状況・家庭環境を把握し、年齢発達に応じた保育環境や活動を提供しました。また子どもの気持ちに寄り添い思いを受け止めたり、職員が同じ方向性で関わることで子どもたちの情緒の安定へとつなげました。
- 3 長時間保育の利用が多いため個別連絡帳の活用の普及を促し、担任はもちろん担任以外の職員でも子どもの様子を伝えられるように、保護者とのコミュニケーションの強化に努めました。
- 4 異年齢児や複合施設の高齢者・地域や他園の子ども達等、様々な人と行事や日々の保育を通して関わることで、相手の気持ちや思いやりの気持ちを感じ心の豊かさを育みました。
- 5 リスクマネジメント委員会を中心にヒヤリハットの活用方法の見直しや各訓練を通して改善策の検討を行い、安心安全な環境作りに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
一時保育室収納棚	758		
購入等合計	758	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		一時保育室収納棚	758
購入等合計	0	購入等合計	758

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	60	60	60	60	61	61	61	61
女児	60	60	60	60	59	59	59	59
合計	120	120	120	120	120	120	120	120

12月	1月	2月	3月	計
61	61	61	61	728
59	59	59	59	712
120	120	120	120	1,440

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児
平成25年度	15	20	21	23
平成26年度	15	20	21	23
平成27年度	15	20	21	21

4歳児	5歳児	計
19	23	121
19	23	121
22	21	120

平成27年度 事業報告書（保育所）

施設名 (仮称) 拝島駅前保育所準備室

【施設運営状況】

- 1 市と協議を重ね、駅前開発事業として、地域の子育て支援を担う施設を作りました。
- 2 前面道路工事・防災倉庫工事等との調整を行いながら、安全かつスムーズに工事を進めました。
- 3 法人の要望・設計の提案を活かし、安全で利用しやすい都会的な保育園を作りました。
- 4 既存施設と協議を重ね、計画的に人材確保を進めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
本体工事	321,069		
↓			
購入等合計	321,069	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
		地盤整備工事	24,265
↓			
購入等合計	0	購入等合計	24,265
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
↓			
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		本体工事	241,781
		初度備品	9,716
↓			
購入等合計	0	購入等合計	251,497

2 高齢者支援系福祉サービスの経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 地域の拠点施設として、地域自治会や民生委員、NPO法人、病院等との連携を深め、高齢者の相談や生活支援の他、家族や地域向けの介護者教室、認知症カフェ事業、施設設備の提供等で拠点施設の役割に努めました。
- 2 人材の確保に向け求人説明会等へ積極的に参加すると共に、ハローワークとの協力でツアー面接会、トライアル雇用制度も活用しました。採用した職員に対しては、各施設での育成制度、初任者研修への参加で、定着率の向上を図って来ました。
- 3 サービスの向上を目指し、新人研修やフォローアップ研修をはじめ、援助技術向上の為にグループ研修や介護職員交換研修、各施設が介護職員の技術向上のための研究を行い、グループ全体のサービスの向上に繋げることが出来ました。
- 4 稼働率の向上に向けてグループ会や各事業別会議等で話し合い、意識を高めてきました。特に100名施設での対応は、日常的に意見交換を行い稼働率向上の方策を検討しました。
- 5 地震等の災害に対してBCPの見直しを随時行い、万が一の危機に際して業務に支障を来さないよう取り組み、利用者の安心・安全に繋げました。
- 6 健全な経営を目指して、各施設に於いて委託費等の見直し、消耗品や介護用品の選定を行うことでコストの削減に努めました。
- 7 東京都経営支援事業やサービス推進費の各種加算、介護保険法における加算等の算定が可能となるよう、体制作りを行い、収支の改善に努めました。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護しました。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与しました。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されています。

3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行いました。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給に係る方等を養護しました。

5 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行いました。

6 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障があり、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

7 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行いました。

8 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、サービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行いました。介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成し、その他の介護に関する専門的な相談に応じました。

9 小規模多機能型居宅介護事業

地域密着型サービスとして、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供しました。

平成27年度 事業報告書（養護老人ホーム）

施設名	万世敬老園	定員	200名
利用者	年間稼働率 98.4% *目標稼働率 100.0%	平均年齢	79.8歳 (最高 99歳) (最低 59歳)
男女比率	110対90		
平均在所期間	7.6年	(最長)	26年
年間入所	36名		
年間退所	33名		
主な入所理由	虐待・住居立ち退き・措置替え・病院退院後行き先なし		
主な退所理由	死亡・特養入所・長期入院		

【施設運営状況】

- 1 人材育成の一つとして、東京都社会福祉協議会「アクティブ福祉IN東京」にて、地域受入れ困難な利用者を、調整をしながら受け入れたケースを発表しました。
- 2 施設老朽化による、故障箇所の修繕を速やかに行い、利用者の生活環境の快適化、安全化を図りました。
- 3 生活困窮者を積極的に受入れ、累計稼働率98.4%を達成しました。
- 4 地域の活動を通じて、地域の居住者としての生活を支援しました。
- 5 BCP対策を念頭に防災意識の向上、備蓄物品の再確認を行いました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の重度化が進む中、利用者主体の自立と自由を維持しながら、個別に介護予防を意識した生活環境作りに取り組みました。
- 2 ケースワークを展開し、利用者のニーズを捉えることで、措置理由の改善に努めました。
- 3 職員意識の向上による、利用者にとっての居心地の良い生活環境の向上に努めました。
- 4 利用者の高齢化、重度化が進む中、郷内の保育園の園児の登園の見守りサポートを行い、地域に役割と生きがいを持って生活できる環境を整えました。
- 5 可能な限り個別の対応を図り、それぞれの利用者にとって、自治会の運営や美化活動など心身の健康の維持向上を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
PCサーバ入替	860	PCサーバ入替え	873
電話交換工事	2,800	温蔵庫	439
温蔵庫	440		
購入等合計	4,100	購入等合計	1,312
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
エアコン取替工事	630	ガス漏れ修繕工事	918
購入等合計	630	購入等合計	918
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
居室床工事	1,600	エアコン取替工事	810
		電話交換工事	2,495
購入等合計	1,600	購入等合計	3,305
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
エアコン取替工事	420		
購入等合計	420	購入等合計	0

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	110	107	107	109	110	113	114	113
女性	85	83	83	84	86	86	85	86
合計	195	190	190	193	196	199	199	199

12月	1月	2月	3月	計
113	115	115	112	1,338
86	87	87	86	1,024
199	202	202	198	2,362

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成25年度	202	2	14	31	56	46	32	21
平成26年度	202	2	14	31	56	46	32	21
平成27年度	198	3	13	36	50	47	30	19

平成27年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	サンホーム		定員	50名	
利用者	年間稼働率	99.8%	平均年齢	84.06歳	(最高 95歳)
	*目標稼働率	100.0%			
	男女比率	19対31			
	平均在所期間	6.1年	(最長 19年)		
	年間入所	7名			
	年間退所	6名			
	主な入所理由	独居不安・住宅事情			
	主な退所理由	介護保険施設入所・逝去			

【施設運営状況】

- 1 特養等入所要件の難しさもあり、介護度の高い方も増加し今年度は緊急入院も多く年平均99.8%と稼働率にも影響しました。介護予防及び居宅支援事業所との協力で入院ではなく在宅生活を維持できる環境づくりに努めました。
- 2 地域住民のニーズに添った専門家を交えての介護予防の知識を広げる講座等の充実に努め、前年比で参加者が2倍となりました。
- 3 今年度も第三者評価を実施し、利用者満足に向けて資質向上に努めました。サンホームだより等の広報の充実に努め、ご家族及び地域に対して施設理解に繋げる努力をしました。
- 4 施設開放日、及び地域見学会等を東村山市社会福祉協議会とも協力して実施し、地域自治会との交流にも努めました。
- 5 経験年数に応じた個人毎の研修計画に添った、研修を実施してより利用者満足に近づけられるよう資質向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 介護予防プラン充実に努め、利用者状況がより把握しやすくなり、ケアの向上につながりました。
- 2 地域参加の催し物などを積極的に行ったことで、施設完結ではなく地域の一員としての意識づけにつながりました。
- 3 利用者要望を取り入れ、行事等余暇活動を創意工夫し行うことができました。また外出支援の機会も多く設けることができました。
- 4 精神、身体機能の低下がみられる利用者を、出来るだけ継続して安定した生活が営めるよう、包括サービスを取り入れ支援することができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
外壁補修調査	1,000	外壁補修調査	216
購入等合計	1,000	購入等合計	216
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
浴室LED照明交換工事	500	浴室LED照明交換工事	498
購入等合計	500	購入等合計	498
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
4階LED廊下照明交換工事	1,500	4階LED廊下照明交換工事	1,481
購入等合計	1,500	購入等合計	1,481

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	18	18	19	19	19	19	19	19
女性	32	32	31	31	31	30	31	31
合計	50	50	50	50	50	49	50	50

12月	1月	2月	3月	計
19	20	20	18	227
31	30	30	32	372
50	50	50	50	599

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成25年度	50	0	1	4	9	13	18	5
平成26年度	50	0	1	4	9	13	18	5
平成27年度	50	0	1	4	5	14	17	9

平成27年度 事業報告書（軽費老人ホーム）

施設名	ライトホーム		定員	50名	
利用者	年間稼働率	62.3%	平均年齢	82.8歳	(最高 94歳)
	*目標稼働率	70.0%			
	男女比率	5 対 23			
	平均在所期間	13年	(最長	26.9年)	
	年間入所	0名			
	年間退所	6名			
	主な入所理由	なし			
	主な退所理由	他施設への住替え、死亡			

【施設運営状況】

- 1 利用者の自己決定による自立生活を支援し、軽費B型の自立した高齢者施設の運営を維持しました。
- 2 29年度新事業開始に向けた住替えの相談や支援を行い、本年度は4名が他施設へ住替えになり62.3%の年間稼働率となりました。
- 3 利用者からの意見や要望は、住替えに関する事、施設設備の老朽化に関する事が多く、随時情報提供及び、苦情には即時対応しました。
- 4 第三者評価を活用し利用者が安心して生活できる支援を行いました。
- 5 27年度事業計画の目標に則し、職員個人の目標を設定して自己研鑽に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の住替えに関する不安等解消するため、面接も同時に継続して取り組みました。
- 2 利用者個々のニーズを発掘し支援計画をたて、日々のケースワークを行いました。
- 3 利用者の健康に関する意識を尊重し支援することで、自立性の高い生活につながりました。
- 4 個別の地域での活動を尊重しつつ、施設での事業や行事を提供し生活の幅を広げ介護予防につながるよう取り組みました。
- 5 利用者の言葉にできない意見や要望を日々の生活からくみ取り、信頼関係を構築するよう努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	6	6	6	6	6	6	6	6
女性	28	27	27	26	26	26	25	24
合計	34	33	33	32	32	32	31	30

12月	1月	2月	3月	計
6	6	6	5	71
24	24	24	23	304
30	30	30	28	375

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳						
		～64	～69	～74	～79	～84	～89	90～
平成25年度	38	0	0	9	5	8	12	4
平成26年度	38	0	0	9	5	8	12	4
平成27年度	28	0	0	4	3	6	9	6

平成27年度 事業報告書（救護施設）

施設名	昭島荘	定員	100名		
利用者年間稼働率	99.5%	平均年齢	66歳	(最高)	86歳
*目標稼働率	100.0%			(最低)	41歳
男女比率	48対52				
平均在所期間	15.6年	(最長)	56年		
手帳保持者	93名				
	(愛の手帳24名、身障手帳22名、左記両手帳 6名、精神障害保健福祉手帳60名)				
年間入所	9名				
年間退所	7名				
主な入所理由	病院 居宅				
主な退所理由	特養移管 長期入院 死亡				

【施設運営状況】

- 1 多様な障害者を受け入れ、セーフティネットとしての機能を果たしました。
- 2 広報誌の発行、ホームページの更新を行い、情報開示に努めました。
- 3 内部、外部研修の他に施設見学、特養での体験研修等を行い職員の育成に努めました。
- 4 支援システムを入れ替え、運用する中で情報伝達の効率化に取り組みました。
- 5 工事、物品購入時等 内容の精査をし、経費削減に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 個別支援計画の見直しを行い、利用者個別支援の向上に努めました。
- 2 地域移行準備を進め、利用者が外泊を体験いたしました。
- 3 一時入所事業において、延べ26名の利用を受け入れました。
- 4 作業担当職員の増配置により、利用者の日中支援の充実にあたりました。
- 5 排泄ケアPTを立ち上げ、利用者の排泄ケアの向上に努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
北門交換工事	1,960	利用者用金庫	680
スロープ貼替工事	930		
洗濯室空調工事	1,050		
物置倉庫(作業)	750		
サーバ	1,050		
購入等合計	5,740	購入等合計	680
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
医務室改修工事	730	サーバ	194
高圧設備工事	2,000		
利用者用金庫	700		
全自動洗濯脱水機	2,400		
食器洗浄機	900		
購入等合計	6,730	購入等合計	194
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
リクライニングキャリー	1,080	マットレス	1,461
2階トイレ床新設工事	700	食器洗浄機	714
マットレス	1,600	東門交換	606
購入等合計	3,380	購入等合計	2,781
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		北門交換工事	1,078
		スロープ貼替工事	615
		洗濯室空調工事	572
		医務室改修工事	702
		全自動洗濯脱水機	1,528
		リクライニングキャリー	832
		2階トイレ床新設工事	532
購入等合計	0	購入等合計	5,859

利用状況(月初人員数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	48	48	48	48	48	48	48	48
女性	50	50	52	52	52	52	52	52
合計	98	98	100	100	100	100	100	100

12月	1月	2月	3月	計
48	48	46	48	574
52	52	52	52	620
100	100	98	100	1,194

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	100	0	0	0	0	1	2	5	92
平成26年度	100	0	0	0	0	1	2	5	92
平成27年度	100	0	0	0	0	0	2	5	93

平成27年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	フジホーム		定員	100名
短期入所	専用	4名	空床利用	6名
利用者	年間稼働率	95.0%	*目標稼働率	98.0%
	（特養	94.4%	短期入所	109.0%
			空床利用含む）	
男女比率	2対8		平均年齢	86.9歳
	（最高	104歳）	平均要介護度	3.7
	（最低	64歳）		
平均在所期間	3.7年	（最長	14.6年）	
年間入所	20名			
年間退所	21名			
主な入所理由	在宅介護困難なため			
主な退所理由	死亡			

【施設運営状況】

- 「持ち上げない介護」については、各部署で購入した福祉用具の利用を継続するとともに、新任職員教育時より「持ち上げない介護」を指導することで、利用者の安心・安全を図りました。
- 稼働率については、年度の中盤に低迷が見られたものの、相談員・介護職員・看護職員等が連携して速やかな入所に繋げるよう努力しました。年度の後半には満床に近くなってきましたが、最終的には年間の目標稼働率（98.0%）には及びませんでした。
- ケアプラン担当相談員がご本人やご家族の希望と各部署の意見も参考にしつつ、細やかなプランを策定してきました。多くのご家族にもケアプラン会議にご参加いただき、ご利用者をご家族と共に支える支援を図りました。
- ボランティア活動に関しては、積極的な受け入れを図りました。地域のニーズの把握や情報発信に関しては、地域貢献も含めて更なる努力をしていきます。
- 様々な生活課題を抱えた高齢者の拠り所やセーフティネットの役割を果たすのは難しい面もありましたが、緊急的な生活課題を抱えた方に対するショートステイの受け入れを行なうなど、一定の成果はありました。

【利用者支援状況】

- 個々の利用者の状態に応じた自己決定に至るまでのプロセスを常に考えながら、自立支援に繋がるケアに努めました。
- モットーである『寄り添う介護』を常に呼びかけながら、利用者の心身に寄り添い生活課題にアプローチして行きました。

- 3 マニュアル委員会を中心に介護技術マニュアルを検討し、人材育成に活かすことで安心・安全なケアの提供を図りました。
- 4 職場内研修を通して人権や介護技術等を学び、実際の業務でも自己研鑽が出来る職員の育成に努めることで、職員の資質向上を図りました。
- 5 利用者の身体状況に合わせて、看取りケアに関する会議を行い情報共有や看取りケアへの意思統一をすることで、利用者・家族にとって安心を感じられるケアに努めました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名 (購入・工事)	金額	物件名 (購入・工事)	金額
第1期 (4～6月)		第1期 (4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期 (7～9月)		第2期 (7～9月)	
外壁タイル補修	8,000	エレベーター部品交換	930
購入等合計	8,000	購入等合計	930
第3期 (10～12月)		第3期 (10～12月)	
購入等合計	0	汚水ポンプ関係交換	1,270
購入等合計	0	購入等合計	1,270
第4期 (1～3月)		第4期 (1～3月)	
汚水ポンプ交換	1,500	温冷配膳車購入	1,540
		外壁タイル補修	5,800
購入等合計	1,500	購入等合計	7,340

年間利用状況 (月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	16	16	17	17	16	17	18	20
女性	84	83	83	81	82	81	86	81
合計	100	99	100	98	98	98	104	101

12月	1月	2月	3月	計
18	18	18	18	209
82	77	79	81	980
100	95	97	99	1,189

利用者状況推移

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成25年度	0	0	3	11	21	31	30	96
	0	2	78	302	712	586	81	1,761
平成26年度	0	0	1	15	22	34	27	99
	0	0	86	166	659	426	257	1,594
平成27年度	0	0	2	12	27	28	30	99
	0	34	156	147	352	588	319	1,596

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数 (各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成27年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ニューフジホーム	定員	100名		
短期入所	専用	4名	空床利用	6名	
利用者	年間稼働率	94.8%	*目標稼働率	98.0%	
	（特養	94.1%	短期入所	112.2%	空床利用含む）
	男女比率	3対22	平均年齢	85.9歳	
	（最高	101歳）	平均要介護度	3.6	
	（最低	59歳）			
	平均在所期間	4.3年	（最長	16.9年）	
	年間入所	17名			
	年間退所	18名			
主な入所理由	在宅での生活が困難				
主な退所理由	死亡				

【施設運営状況】

- 1 入居待機者の事前確保やショートステイ稼働率の向上に努めましたが、結果として98%目標達成が出来ず、年間稼働率94.8%でした。
- 2 口腔ケアの取組みを通じて、他の法人との交流を深め、ともに利用者サービス、ケアの向上に努めました。
- 3 職場体験児童、多くのボランティアを受け入れ、開かれた施設、利用者サービス向上に繋がりました
- 4 リスクマネジメントの一環として、感染症等の研修を行い、安心・安全な施設サービスの提供に努めました。
- 5 生活の基本となる、住環境整備（温冷配膳車設置、トイレ改修等）を行いました。

【利用者支援状況】

- 1 寄り添うケアの実現のため、利用者個々のニーズを把握し、自立支援に取り組みました。特に、外出、外泊支援を実施し、多くの利用者に喜んでいただきました。
- 2 介護力向上のため、タクティールケア（認知症緩和ケア）を充実させ、QOLの向上に努めました。

- 3 ご本人、ご家族の意向を十分に汲みとり、看取り介護に取り組みました。
- 4 持ち上げない介護の技術の深化を図り、利用者の安心、安全を第一に考えた移乗介助を実践しました。
- 5 適切なアセスメント、ケアプランの作成を行い、全セクション統一した、ケア・支援を提供しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
ガラス飛散防止(2期)	650		
職員ユニホーム	500		
購入等合計	1,150	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
居室空調入替	600	トイレ改修(利用者)	352
トイレ改修(来客)	3,200	温冷配膳車2台	2,959
購入等合計	3,800	購入等合計	3,311
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
温冷配膳車	3,000		
2階西フロア一室仕切り	1,000		
購入等合計	4,000	購入等合計	0

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	13	11	11	11	12	13	11	11
女性	93	91	90	92	91	95	91	89
合計	106	102	101	103	103	108	102	100

12月	1月	2月	3月	計
11	14	11	11	140
91	92	90	90	1,095
102	106	101	101	1,235

利用者状況推移

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成25年度			6	6	16	31	39	98
	6	22	339	355	386	599	85	1,792
平成26年度			6	6	16	31	39	98
	0	3	103	206	651	566	326	1,855
平成27年度			10	6	15	41	25	97
			165	145	679	385	268	1,642

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成27年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	原町ホーム	定員	50名		
短期入所	専用	2名	空床利用	4名	
利用者	年間稼働率	100.2%	*目標稼働率	99.0%	
	（特養	97.4%	短期入所	171.6%	空床利用含む）
	男女比率	8対42	平均年齢	88.2歳	
	（最高	100歳）	平均要介護度	4	
	（最低	69歳）			
	平均在所期間	4年	（最長	25年）	
	年間入所	10名			
	年間退所	11名			
主な入所理由	自宅での生活が困難になったため				
主な退所理由	逝去・入院				

【施設運営状況】

- 1 入所状況において目標としていた稼働率99%を上回る100.2%を達成し、安定した経営基盤づくりができました。
- 2 ほほえみ交流事業のカフェメモリー原町が地域に浸透し、地域社会との連携が更に深まりました。
- 3 第三者評価を通して情報公開し、開かれた施設となるよう努めました。
- 4 年間12回の職場研修や法人研修、外部研修をとおして多角的に職員の資質の向上を図りました。
- 5 地域包括ケアシステムを実現するために原町高齢者複合施設、関係諸機関、地域住民と連携し、安心して暮らせる街づくりに貢献しました。

【利用者支援状況】

- 1 パーソンセンタードケアの実践のためケアプランの充実と着実な実行をし、その人らしい生活を支援しました。
- 2 スウェーデン式ハンドセラピーの資格保有者を増やし、定期的実施し、取り組みを充実しました。
- 3 胃ろう・褥瘡・酸素療法・尿カテーテル・ストマなど医療的ニーズに対応しました。

- 4 持ち上げない介護を園全体で定着させ移乗にかかるご利用者の負担を和らげました。この取り組みが評価され平成28年3月に新宿区長賞を受賞しました。
- 5 述べ907名のボランティアの方が各種活動に参加され、ご利用者の支援に繋げることができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
床壁天井工事	11,000		
購入等合計		購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
送迎用車両	4,500		
購入等合計		購入等合計	0

年間利用状況（月初人員数：特養）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	8	8	8	8	8	8	8	8
女性	42	42	42	43	43	42	43	43
合計	50	50	50	51	51	50	51	51

12月	1月	2月	3月	計
8	7	7	7	93
42	42	43	42	509
50	49	50	49	602

利用者状況推移

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成25年度			1	5	3	21	20	50
	0	10	52	146	46	235	592	1,081
平成26年度			1	5	3	21	20	50
	10	0	39	140	11	236	707	1,143
平成27年度			1	4	6	19	19	49
	13		4	317	117	145	660	1,256

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数（各年3月1日現在）

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成27年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ゆたか苑		定員	50名	
短期入所	専用	4名	空床利用	4名	
利用者	年間稼働率	96.7%	*目標稼働率	99.0%	
	（特養	98.6%	短期入所	73.1%	空床利用含む）
	男女比率	1対9	平均年齢	88.2歳	
	（最高	103歳）	平均要介護度	4.3	
	（最低	72歳）			
	平均在所期間	4.3年	（最長	20年）	
	年間入所	8名			
	年間退所	9名			
主な入所理由	在宅での介護困難、虐待等（措置入所）				
主な退所理由	死去、長期入院等				

【施設運営状況】

- 1 入所の迅速化を目指しましたが、区内近隣に新規特養の開設が続き一時的に待機者が減少したため、利用率は前年比+0.1にとどまりました。
- 2 認知症予防体操教室、栄養教室、ランチ交流会など地域交流事業を実施し地域の方々にも数多く参加いただき交流事業として定着化しました。
- 3 第三者評価では組織体制の見直しと虐待防止への取り組みを評価いただきました。
- 4 福祉機器を積極的に導入し、利用者の要望に寄り添うとともに職員の負担軽減も目指しました。
- 5 BCP（事業継続計画）に基づき、地域住民と合同で非常食炊き出し訓練を行ったほか、地元自治会との相互応援協定に加え、自治体から「福祉避難所」として指定を受けました。

【利用者支援状況】

- 1 社会福祉法人の運営する施設として行政と協力し、虐待や経済的理由で在宅介護が困難な高齢者を積極的に受け入れました。
- 2 協力歯科医療機関を定め、口腔ケアについて用具整備や研修による技術向上を行い、誤嚥性肺炎による入院の減少に努めました。

- 3 利用者の要望に基づき、都内各地へ「日帰り旅行」としてサーカス観覧、ディズニーランド、水族館見学、近隣の飲食店からの招待など積極的に外出活動を行いました。
- 4 介護実習や小中学生などの職場体験などを積極的に受け入れ、将来の職業像として介護を身近に感じていただける取り組みを行いました。
- 5 玄関に設置した掲示板や社会福祉協議会の紹介により新規のボランティアを数多く受け入れることができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
3階空調工事	11,900	3階空調工事	11,124
厨房空調更新	750	屋上温度調整器交換	432
地域交流室椅子・机	600		
購入等合計	13,250	購入等合計	432
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
電動ベッド更新	1,000	電動ベッド更新	997
建物診断	1,600	地域交流室椅子・机	512
購入等合計	2,600	購入等合計	1,509
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
雑排水ポンプ更新	500	雑排水ポンプ更新	398
		加圧給水ポンプ交換	608
		大規模修繕基本設計料	1,404
		電動ベッド更新	997
購入等合計	500	購入等合計	3,407
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
電動ベッド更新	1,000		
購入等合計	1,000	購入等合計	0

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	4	4	4	4	4	4	4	4
女性	47	47	46	47	47	47	47	47
合計	51	51	50	51	51	51	51	51

12月	1月	2月	3月	計
4	4	4	3	47
45	45	45	44	554
49	49	49	47	601

利用者状況推移

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
平成25年度	0	0	0	1	7	19	22	49
	0	19	19	63	571	415	549	1,636
平成26年度	0	0	0	1	7	19	22	49
	0	106	180	26	78	451	338	1,179
平成27年度	0	0	0	3	3	18	23	47
	11	0	383	261	85	223	107	1,070

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

平成27年度 事業報告書（特別養護老人ホーム・短期入所）

施設名	ひかり苑	定員	50名		
短期入所	専用	4名	空床利用	5名	
利用者	年間稼働率	98.6%	*目標稼働率	99.0%	
	（ 特養	97.9%	短期入所	107.6%	空床利用含む ）
男女比率	1対2.2	平均年齢	87.1歳		
	（最高	100歳）	平均要介護度	3.8	
	（最低	64歳）			
平均在所期間	3.9年	（最長	11.5年）		
年間入所	10名				
年間退所	9名				
主な入所理由	在宅生活困難なため家庭からの入所				
主な退所理由	死亡退所				

【施設運営状況】

- 1 法人理念と施設理念を常に念頭において、業務遂行に努めました。稼働率98.6%で目標値（99%）は達成できませんでした。（前年度99.4%）
- 2 「食の安全・安心確保」に向けて、東京都の「東京都食品衛生自主管理認証制度」を受審した結果、認証基準に合致した衛生管理を履行していると認証されました。
- 3 前年度に続き、省エネ化（全館照明のLED化）を実施した結果、電気代・ガス代の大幅削減につながりました。
- 4 第三者評価を受審して、施設運営全体の振り返りを行い、職員育成のための研修を充実させたり、多くのボランティアの導入を行いました。
- 5 「持ち上げない介護」をモットーに、機能訓練指導員による福祉用具の積極的な導入と職員研修によって、職員の身体的負担の軽減につながっています。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の人権を尊重して、個別ケアを基本にして生活の質の向上を常に目指し、利用者満足が得られるようにサービスを提供しました。
- 2 老朽化に伴い居室等のトイレの改修を行い、衛生面や環境面が改善して快適な住環境となりました。

- 3 近隣の小中高の学校と連携して、施設見学や職場体験、実習生を多く受け入れることによって、ボランティアへの働きかけと利用者の生活の質の向上に繋がりました。
- 4 ソフト食による食事提供や水分補給の方法等、安全で安心して食事摂取していただけるように栄養ケアプラン会議を充実させました。
- 5 今年度初めて、利用者さんに「野菜の皮むき」を企画したところ、利用者から好評で参加したいと希望が多くケアの向上になり、余暇活動の充実に繋がりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
建物外装タイル調査	1,000	建物外装タイル調査	216
居室トイレ改修	1,500		
省エネ化工事(LED)	9,200		
購入等合計	11,700	購入等合計	216
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
電動ベッド2台	600	電動ベット3台	927
		省エネ化工事(LED)	4,536
		コンベクションオープン	1,207
		居室トイレ改修	1,180
購入等合計	600	購入等合計	7,850
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(月初人員数：特養)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	15	16	16	16	16	16	16	15
女性	35	35	35	35	34	34	34	34
合計	50	51	51	51	50	50	50	49

12月	1月	2月	3月	計
16	16	16	16	190
35	34	34	33	412
51	50	50	49	602

利用者状況推移

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成25年度	0	0	1	5	13	17	15	51
	0	0	183	416	586	106	280	1,571
平成26年度	0	0	1	4	13	17	15	50
	5	0	353	182	955	442	169	2,106
平成27年度	0	0	2	4	12	14	17	49
	0	25	429	48	154	542	377	1,575

※1 上段は、特別養護老人ホーム入所者数(各年3月1日現在)

※2 下段は、短期入所生活介護延人数

施設名	かえで		定員	9名	
利用者	年間稼働率	89.4%	平均年齢	84.5歳	(最高 96歳)
	*目標稼働率	96.0%			
	男女比率	4対5			
	平均在所期間	2.1年	(最長 5.4年)		
	年間入所	3名			
	年間退所	2名			
	主な入所理由	在宅介護の継続困難による			
	主な退所理由	在宅復帰や療養機関への入院による			

【施設運営状況】

- 1 認知症によるご本人及び他利用者への影響を考慮しながら、個別ニーズの充足をチームで支援しました。またケアプラン会議や朝礼などで、日々の支援を見直すよう心掛けました。
- 2 家族の集い（年2回）、運営推進会議（年6回）等を通じ、情報の提供及び発信を行いました。相談、苦情に関しても随時対応し、第三者委員会にて報告しています。
- 3 施設開設後毎年継続受審している第三者評価では、ご家族、評価機関より高い評価を頂くことが出来ました。また運営推進会議を通じ、地域や他施設の状況を知ることで当ホームの支援の向上に努めています。
- 4 職員の各研修への参加と共に、市内のグループホーム見学や新たな行事等の企画を行いました。
- 5 昨年度より稼働率1.0%減でありましたが、円滑な入退去に努めました。その他は訪問看護師の協力もあり、利用者の健康、体調管理を行っております。

【利用者支援状況】

- 1 職員会議やセルフチェック、第三者評価の受審による支援方法の見直しや、研修報告を通じ情報の共有に努めました。
- 2 全体での行事等の外出に加え、個別の買い物や外食等の機会を随時設けることが出来、ニーズの充足や日々の活動的な生活につなげる事が出来ました。
- 3 日々利用者との食事準備や喫食を共にすることで、日常的な調理や希望を聴く機会を作ることが出来ました。
- 4 基本的な生活リズムは守りつつも日課は最小限に留め、利用者それぞれのペースを尊重した支援を行いました。

5 様々なボランティアの活用、地域行事への参加、買物や理髪等の日常的な外出を通じ地域との交流を行いました。

【施設整備状況】 (単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
居室空調入替	700		
購入等合計	700	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(月初人員数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	3	4	4	4	4	4	4	4
女性	5	5	5	5	5	5	5	5
合計	8	9	9	9	9	9	9	9

12月	1月	2月	3月	計
4	4	4	4	47
4	3	3	4	54
8	7	7	8	101

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成25年度	9	0	0	3	1	4	1	0
平成26年度	9	0	0	3	1	4	1	0
平成27年度	8	0	0	2	4	2	0	0

平成27年度 事業報告書（認知症対応型共同生活介護）

施設名	原町グループホーム		定員	18名	
利用者	年間稼働率	98.0%	平均年齢	86.2歳	（最高 96歳）
	*目標稼働率	98.5%			
	男女比率	1対5			
	平均在所期間	2.5年	（最長 3年）		
	年間入所	2名			
	年間退所	2名			
	主な入所理由	在宅生活が困難になったため			
	主な退所理由	入院先又は施設で逝去			

【施設運営状況】

- 入所者が2名でしたが、うち1名は小規模多機能居宅介護支援センターを利用している方でグループホームに申し込みをしていた方でした。もう1名も速やかに決まり安定した運営となりました。
- 27年度も第三者評価を受け、概ね高評価をいただきました。
- 27年度もほほえみ交流事業「カフェメモリアル原町」に参加することで地域の方や他事業所の利用者と交流する事ができました。
- 初任者研修、スウェーデン式ハンドセラピー研修に参加したり、原町ホームのOJTとネットワークし、幅広い参加機会により職員の知識、技術向上に努めました。

【利用者支援状況】

- 毎月行われるフロア会議内において、各ご利用者様へのサービスがより良いものとなるように話し合いました。
- 社会福祉協議会を通じ、毎月定期的に来て頂く傾聴ボランティアと、ご利用者のお楽しみ会を開催する際にもボランティアの参加を得ることができました。
- ご利用者に対するマナー（言葉遣い、態度など）について振り返る機会を設け、セルフチェックを行いサービス向上に努めました。
- 日々の共通の日課は最小限にとどめ、ご利用者それぞれのペースを尊重した支援を行いました。
- ご利用者の方々に地域の行事に参加していただきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（月初人員数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	3	3	3	3	2	2	2	3
女性	15	15	15	15	15	16	15	15
合計	18	18	18	18	17	18	17	18

12月	1月	2月	3月	計
3	3	3	3	33
15	15	15	15	181
18	18	18	18	214

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成25年度	16			7	8	1	1	1
平成26年度	16			7	8	1	1	1
平成27年度	18			6	7	4	1	0

平成27年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **フジ・デイサービスセンター**

定員

25名

利用者 年間稼働率

67.9%

男女比率

1 対 6

*目標稼働率

78.0 %

平均年齢

84.4 歳

（最高 **98** 歳）

（最低 **62** 歳）

【施設運営状況】

- 1 レクリエーション等活動自体を見直し、様々な取組を継続するとともに、新しい試みも積極的に取り入れました。また、入浴の職員配置や方法を工夫し、多くの利用者に入浴を提供でき、稼働率向上に繋がりました。
- 2 昨年に引き続き昭島病院の理学療法士を招きリハビリ体操を実施、残存機能を活かし、在宅生活の継続に貢献するとともに、フジ・デイサービスの特色としてケアマネージャーにも認知されるようになってきました。
- 3 近隣デイサービスの増加等の対策として、各居宅介護支援事業所のケアマネージャー等関連機関との連携を強化し、信頼関係を構築する中で稼働率維持に繋がりました。
- 4 先輩職員が後輩職員を指導し、内部研修などに参加するなど職員育成によりサービスを維持向上させ、顧客満足に繋がりました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の意思を尊重しながら自立支援をサポートし、顧客満足に繋がりました。
- 2 利用者ニーズを適切に踏まえた計画書を作成、援助を行いました。
- 3 介護技術の確認作業を適宜行い、適切な介護技術を持って、個々に適した援助を行いました。
- 4 ボランティアや地域資源を活用し、多種多様なサービスを提供しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	50	37	34	34	33	33	32	30
女性	382	375	399	422	413	420	433	390
合計	432	412	433	456	446	453	465	420

	12月	1月	2月	3月	計
	34	33	44	59	453
	371	368	388	433	4,794
	405	401	432	492	5,247

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	
25	介護	23	425	1,910	1,303	884	806	180	5,531
	送迎	46	850	3,820	2,606	1,768	1,612	360	11,062
	食事	23	425	1,910	1,303	884	806	180	5,531
	入浴	0	7	350	570	193	610	102	1,832
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
26	介護	0	402	1,487	1,659	672	875	96	5,191
	送迎	0	804	2,974	3,318	1,344	1,750	192	10,382
	食事	0	402	1,487	1,659	672	875	96	5,191
	入浴	0	25	325	562	183	593	62	1,750
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
27	介護	0	349	1,533	1,777	565	623	400	5,247
	送迎	0	698	3,066	3,554	1,130	1,246	800	10,494
	食事	0	349	1,533	1,777	565	623	400	5,247
	入浴	0	103	521	612	274	288	265	2,063
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成27年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名	フジ・デイホーム	定員	10名
利用者 年間稼働率	58.6%	男女比率	15対1
*目標稼働率	76.0%		
平均年齢	77.8歳	（最高	101歳）
		（最低	58歳）

【施設運営状況】

- 1 毎月定期的に各居宅介護支援事業所を訪問して、ご利用者に関することや地域の高齢者のニーズを伺うなどの取り組みを積極的に行ってきました。空き状況や当事業所のアピールなどの情報発信も行っていましたが年間利用率は58.6%と目標の76.0%を達成することはできませんでした。
- 2 認知症対応型通所介護事業所として、個々のご利用者の状態や今後の介護のことなどについて、ご家族とこまめにコミュニケーションを図りながら、情報交換や専門的な見地からのアドバイスなどを積極的に行ってきました。
- 3 併設する特別養護老人ホームと入所に関する情報提供や短期入所生活介護と当事業所の両方のサービスを併用されているご利用者の情報共有などを必要に応じて行うことで、フジホームとして一体的に支援する取り組みを行ってきました。
- 4 実習生の受け入れを通して将来の社会福祉を担う人材育成に寄与してきました。
- 5 近隣の活動団体などに依頼してお囃子などのイベントを開催するなど、地域に施設を開放することでサービスの幅を広げると同時に開かれた施設作りに取り組んできました。

【利用者支援状況】

- 1 認知症対応型通所介護事業所として、ご利用者それぞれの認知症状や心身機能を把握しながら、在宅での生活状況などについても定期的かつ必要に応じて随時アセスメントを実施して、可能な限り自立した生活を送ることができるよう支援してきました。
- 2 活動内容について、可能な限りご利用者のニーズに幅広く対応していくために、リハビリ体操や散歩、ドライブや創作など動的な活動と静的な活動をバランスよく提供してきました。
- 3 定期的かつ必要に応じてケース会議を開催して、チームとして情報共有を行いながら通所介護計画書に沿った支援を行うことで、ご利用者の心身機能や残存機能の維持・向上に取り組んできました。
- 4 併設する特別養護老人ホーム、一般型通所介護事業所と合同でイベントを開催するなどスケールメリットを活かした取り組みを通して、ご利用者により多くの人と関わることができる場を提供してきました。
- 5 小規模のメリットを活かして、家庭的な雰囲気作りと個々のご利用者のその日のニーズなどに柔軟に対応しながらきめの細かいサービスを提供してきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況（月間延人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	16	19	21	23	21	35	37	20
女性	148	125	124	142	155	142	143	115
合計	164	144	145	165	176	177	180	135

12月	1月	2月	3月	計
16	16	13	8	245
117	107	114	133	1,565
133	123	127	141	1,810

利用者状況推移（各年度延人数）

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
25	介護	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	送迎	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	食事	0	0	85	852	896	395	9	2,237
	入浴	0	0	0	373	645	300	6	1,324
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
26	介護	0	0	0	434	797	482	366	2,079
	送迎	0	0	0	434	797	482	366	2,079
	食事	0	0	0	434	797	482	366	2,079
	入浴	0	0	0	252	576	398	142	1,368
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0
27	介護	0	0	12	506	542	452	298	1,810
	送迎	0	0	24	1,012	1,084	904	596	3,620
	食事	0	0	12	506	542	452	298	1,810
	入浴	0	0	1	261	390	213	201	1,066
	機能訓練	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成27年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **原町デイサービスセンター** 定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **55.9**% 男女比率 **1対4**
*目標稼働率 **68.0**%

平均年齢 **82.6**歳（最高 **96**歳）（最低 **68**歳）

【施設運営状況】

- 1 やさしさを起点にした介護を実践し、各関係機関との連携を持って、在宅生活の維持に努めました。
- 2 快適な環境を整えるために家具の配置など検討しました。
- 3 周辺地域のデイサービスの増加もあり、前年度に比べ利用者数が119名・稼働率が3.8%低下しました。
- 4 施設内研修により、認知症の理解や介護の基本、接遇やコンプライアンスなどについて学習しました。

【利用者支援状況】

- 1 個々の状況に合わせたその人らしいサービスとなるように努力しました。
- 2 ケアプランに基づき、その人らしさの実現の為に丁寧にサービスしました。
- 3 医療ニーズの高い方への支援を各機関と連携して実践しました。
- 4 ボランティアや地域資源を活用してサービスを提供しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名 (購入・工事)	金額	物件名 (購入・工事)	金額
第1期 (4～6月)		第1期 (4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期 (7～9月)		第2期 (7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期 (10～12月)		第3期 (10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期 (1～3月)		第4期 (1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況 (月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	37	46	51	45	38	34	37	36
女性	141	135	144	145	133	139	152	120
合計	178	181	195	190	171	173	189	156

12月	1月	2月	3月	計
23	24	37	27	435
117	144	141	134	1,645
140	168	178	161	2,080

利用者状況推移 (各年度延人数)

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
25	介護			75	269	174	429	818	1,765
	送迎			150	538	348	858	1,636	3,530
	食事			75	269	174	429	597	1,544
	入浴			75	227	174	429	597	1,502
	機能訓練								0
26	介護			75	269	174	429	818	1,765
	送迎			150	538	348	858	1,636	3,530
	食事			75	269	174	429	597	1,544
	入浴			75	227	174	429	597	1,502
	機能訓練								0
27	介護			34	208	264	630	944	2,080
	送迎			68	416	528	577	1,888	3,477
	食事			33	190	277	578	670	1,748
	入浴			29	192	250	514	911	1,896
	機能訓練								0

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成27年度 事業報告書（老人デイサービスセンター）

施設名 **東大和市ふれあいデイセンターひかり苑** 定員 **12**名

利用者 年間稼働率 **72.9**% 男女比率 **1対3**
*目標稼働率 85.0%

平均年齢 **80.7**歳（最高 **94**歳）（最低 **64**歳）

【施設運営状況】

- 1 法人理念と施設理念を常に念頭において業務遂行に勤めました。稼働率72.9%と年間を通して概ね順調に稼働させることが出来ました。（前年度65.1%）
- 2 正規職員の内部異動により、今年度は全員臨時職員（契約職員・非常勤職員）の体制で事業を行いました。職員全員のチームワークによって概ね順調に事業が実施できました。
- 3 地域の小中高の学校と連携して、施設見学・職場体験学習・ボランティアの受入をして、地域に開かれた施設づくりを継続しました。
- 4 地域密着型認知症対応の通所介護事業所として、利用者の認知症の症状を理解するために、職員は積極的に研修に参加しました。
- 5 広報誌（デイ便り）を2ヶ月に1回発行して、ご家族や地域、見学者に向けて情報提供して、利用者の増加になるように取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の意思を尊重しながら、安全に配慮し優しさや笑顔あふれるデイサービスになるように努めました。
- 2 晴れた日は、毎日午後に外出し積極的に気分転換を図ったり、職員全員でアイデアを出して余暇活動やレクリエーションで楽しんでもらいました。
- 3 有償、無償のボランティアに多く来て貰えるような企画を多く取り入れ、利用者満足につながるよう努めました。
- 4 雪の日でも利用者の希望がある限り休まずに、安全運転に十分気をつけて事故の無いように送迎をしました。
- 5 基本的な生活リズムは守りつつ、利用者それぞれのペースを尊重して支援を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名 (購入・工事)	金額	物件名 (購入・工事)	金額
第1期 (4～6月)		第1期 (4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期 (7～9月)		第2期 (7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期 (10～12月)		第3期 (10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期 (1～3月)		第4期 (1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況 (月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	54	53	50	60	59	72	69	65
女性	188	177	192	189	169	171	173	156
合計	242	230	242	249	228	243	242	221

12月	1月	2月	3月	計
43	43	47	45	660
156	157	152	162	2,042
199	200	199	207	2,702

利用者状況推移 (各年度延人数)

年度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
25	介護		241	865	670	787	83	2,646
	送迎		241	865	670	787	83	2,646
	食事		241	865	670	787	83	2,646
	入浴		121	246	356	419	40	1,182
	機能訓練		165	676	485	593	64	1,983
26	介護		362	343	577	926	190	2,398
	送迎		362	343	577	926	190	2,398
	食事		362	343	577	926	190	2,398
	入浴		195	118	308	341	136	1,098
	機能訓練		268	297	433	678	122	1,798
27	介護		401	567	591	907	236	2,702
	送迎		802	1,134	1,182	1,814	472	5,404
	食事		401	567	591	907	236	2,702
	入浴		135	222	387	497	69	1,310
	機能訓練		236	411	422	662	165	1,896

※1 送迎、食事、入浴、機能訓練の人員は、介護と重複する。

※2 入浴の人員は、一般浴と機械浴の合計。

平成27年度 事業報告書（地域包括支援センター）

施設名 榎町高齢者総合相談センター

年間延実施状況
（相談件数）

	本人	家族等	関係機関	その他	合計
相談件数	4,805	4,743	2,003	670	12,221

【施設運営状況】

- 1 昨年に引き続き、来所相談は他のセンターより多い傾向が続いています。相談件数の中で、2号被保険者の方の申請や、病院と連携した退院支援のケースも増えました。
- 2 地域ケア会議を個別ケースで5回、圏域型を1回開催。地域版認知症ケアパス作成のため、地域資源の把握や、会議を行いました。
- 3 認知症サポーター養成講座を5回開催しました。他にも、地域交流館での熱中症講座や出張相談等、地域と関わる場を増やしています。また、実習生の受け入れも積極的に行い、早稲田大学や新宿メディカルセンターの実習生等を延35日間受け入れました。
- 4 新宿区の申請窓口としての業務を行っています。介護保険の申請業務が一番多く介護老人福祉施設の申し込みが増加の傾向にあります。
- 5 予防介護支援事業所として、要支援1・2の方に対する予防プランの作成を行いました。給付件数は、3,028件と委託プランが増加しています。

【利用者支援状況】

- 1 民生委員等各関係機関と顔の見える関係を築けるよう、連携を蜜に行っています。高齢者世帯が3割を超える地域であり、安否確認を行うケースも増えています。
- 2 経済的問題や相続の問題等、法的な知識が必要となるケースが増えていることから、各センターに月に1回法テラスの弁護士が来所する弁護士相談が行われており相談しやすい環境となっています。
- 3 認知症連携担当者を置き、増え続けている認知症対策を講じています。当センターでは、毎月1回、認知症家族会の会場となっています。

- 4 医療連携担当者を配置し各医療機関と居宅介護支援事業所との連携の橋渡し役を担っています。各病院、MSWとの交流会、連絡会等を企画・開催しました。
- 5 権利擁護事業では、虐待対応、成年後見の申し立ての相談対応を行い、各機関と連携し、迅速な対応を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成25年度	193	10,257	343	917	1,635	1,137	88
平成26年度	193	10,257	343	917	1,635	1,137	88
平成27年度	408	5,839	150	1,046	1,766	1,262	31

施設名 **昭島市中部地域包括支援センター あいぽっく**

年間延実施状況
（相談件数）

	本人	家族等	関係機関	その他	合計
相談件数	2,319	1,379	6,018	0	9,716

【施設運営状況】

- 1 地域包括ケア体制を担う相談機関となるよう、積極的に民生委員・老人会・自治会と連携してネットワーク作りを行いました。介護保険サービス事業所や民生委員を招いての地域連絡会を開催したり、地域包括ケアシステム構築の為の手段の一つとして地域ケア会議を開催し、地域課題抽出に努めました。また今年度から地域包括の担当区域の再編もあり、市内他の地域包括と連携して業務に当たりました。
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心機関としての役割を果たすべく、民生委員や介護保険サービス事業所などとの連携構築に取り組みました。虐待対応機関として、マニュアルに沿って早期発見、対応に取り組み、また家族で介護する方への知識・技術取得機会、交流機会として介護者教室を開催しました。
- 3 社会福祉士・主任ケアマネ・保健師の3職種のみならず、市役所・昭島市の地域包括支援センターと定期的に会合を持ち、連携しながら、第6期昭島市介護保険事業計画に沿った計画実施に取り組みました。
- 4 生活機能の低下を予防するべく、適切なアセスメントを行う事を心掛け、職員1人当たり、直営・委託を含め40件程の介護予防プラン作成に関わりました。また二次予防対象者に介護予防体操教室を開催し、その際に作成した介護予防体操マニュアルを多方面に活用しました。
- 5 季刊誌として広報紙の発行、老人会での講座の開催などを定期的に行い、市民に向けての介護保険制度の動向、介護予防に関する情報提供、地域包括支援センターの周知に積極的に取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 高齢者の在宅生活の継続を支援していくために、積極的に各介護保険サービス事業所と連携を取り、きめの細かいサービス提供に努めると共に、地域のケアマネジャーが担当している困難事例の相談を受けるなどケアマネ支援にも積極的に取り組みました。
- 2 高齢者の総合相談窓口として、多様な相談に対応するために職員の研修派遣、あきしまネットワーク各部会への参加を積極的に行い、ワンストップで相談支援が行える体制づくりに取り組みました。
- 3 老人会や自治会などへ包括職員が定期的に赴き、各地域の高齢者の方々が必要としている情報提供を行うと共に介護予防の取り組みを行い、ネットワークを構築しました。

- 4 認知症の方々が地域で安心して生活して頂ける町づくりを目指し、認知症サポーター養成講座を警察、小学校、老人会などで開催しました。また、介護している家族に対して家族介護者教室、男性介護者の集いを開催し、介護技術の向上や交流の機会を図りました。
- 5 ご利用者の相談に丁寧に耳を傾け、必要な方には自宅へ訪問し相談を受け対応しました。また老人会や自治会にも参加し積極的に地域のご利用者の声を拾うよう心掛けました。昭島市の取り組みである救急医療キットの配布にも積極的に取り組みました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用者状況推移（各年度延人数）

年度	相談件数				介護予防プラン作成		
	施設	在宅サービス	介護予防	その他	新予防給付		地域支援事業
					要支援1	要支援2	
平成25年度	62	3,248	3,398	1,135	1,278	1,374	39
平成26年度	101	3,159	3,638	1,279	1,377	1,630	30
平成27年度	48	2,672	3,391	682	1,006	1,194	133

平成27年度 事業報告書（小規模多機能型居宅介護センター）

施設名	原町小規模多機能型居宅介護センター	登録定員	25名
利用者 年間稼働率	84.7%	通いサービス	15名
*目標稼働率	88.0%	宿泊サービス	5名
男女比率	3対7	平均要介護度	2.2

【施設運営状況】

- 1 利用者のニーズや希望を叶えると同時に、安全にも配慮した介護を追求しました。認知症のBPSD（行動・心理症状）があり、独居世帯であっても健康状態とその人らしい生活環境の把握に努め、心身が安定し、安心して生活できるようケアすることに取り組みました。
- 2 新規利用者の方は独居世帯も多く、また緊急性のある方の対応も行いました。事業所の同じ町内の利用者が増え地域密着サービスとしての役割を果たせるようになりました。
- 3 利用者一人ひとりの日々変化するニーズに対応するため、「通い・宿泊・訪問」サービスを臨機応変に変更してサービスを提供しました。特に「訪問」を強化したことで利用者の在宅生活での支援を行うことができました。第三者評価においてはその柔軟なサービスとカフェメモリー等の地域交流、運営推進会議での情報公開の取り組みなどが評価されました。
- 4 小規模独自の研修プログラムや東京都小規模多機能協議会による小規模多機能基礎研修を原町の地域交流室で開催し参加しました。年間を通じてOJT、OFF・JTを実施。職員一人ひとりが確実に相談援助技術、介護力、チーム力、リーダーシップを身につけ、多様なサービスが求められる小規模多機能業務に臨機応変に対応できるよう養成しました。
- 5 施設入所、入院、死亡などにより28年3月末で登録22名、年間稼働率は前年の62.9%から84.7%となりました。利用者登録は上昇傾向にあり、小規模多機能からの施設入所に伴う退所支援、入院からの退院支援等医療連携を行い地域包括ケアを実践しました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者のもてる力を見極め、少しでも自力で生活動作ができるよう、環境を整え、支援方法を考え職員で情報共有しました。また、個別に趣味や興味のあることを見つけてアクティビティとして提供。生活の幅が広がるように支援しました。在宅生活の維持に対し訪問のニーズを捉え、なじみの地域で生活を支援することを重視してケアを行いました。
- 2 利用者別に家庭環境を含むアセスメントを実施しました。通い・宿泊・訪問のサービスを提供できる強みを生かし、ケアマネジメント・ケアサービスを提供しました。家族が就業しながらの在宅介護を支援し、重度要介護者の自宅での生活を支援しました。
- 3 小規模サービスを提供するための職員の知識・技能が標準化されるよう、手順化し個別に研修・評価を行いました。また、利用者の個別情報やケアを行う際の方向性、考え方が職員間で共有されることを重要視し、そのための仕組みづくりを行いました。
- 4 スウェーデン式ハンドセラピー（ハプティックセラピー）を提供し、認知症の重度の周辺症状がある利用者の症状緩和を図ったり、夜間スムーズに睡眠導入できるように取り組みました。
- 5 カフェメモリー原町（書道、華道、手芸、リハビリ体操、ブンネ法）に参加し、地域住民との連携を図る取り組みを行いました。また、運営推進会議にて、原町小規模多機能の地域連携の取り組みを報告し、地域住民の方々の潜在ニーズの収集や意見交換を行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

利用状況(月間延人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	150	155	150	186	93	120	124	120
女性	420	465	480	558	589	540	496	480
合計	570	620	630	744	682	660	620	600

12月	1月	2月	3月	計
155	155	174	186	1,768
496	496	464	496	5,980
651	651	638	682	7,748

利用者状況推移(各年度延人数)

年度		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
25	通い	17	140	183	236	801	666	163	2,206
	宿泊		26	68	161	361	366	51	1,033
	訪問		88	5		6		3	102
26	通い	29	44	656	821	677	1121		3,348
	宿泊	0	0	281	284	274	648		1,487
	訪問	67	116	453	530	144	7		1,317
27	通い	104	2	1198	1094	389	1217	14	4,018
	宿泊			311	309	178	407	7	1,212
	訪問	133	5	2042	1989	261	244	244	4,918

3 障害者支援系福祉サービスの経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 小茂根福祉園とさいわい福祉センターが平成28年度からの指定管理を再受任し、立川福祉作業所の改築も順調に進み3月より円滑に新園舎での運営を再開できました。また、新たにさやま園とさくらんぼの2施設が特定相談事業を開始し、各施設ともに安定した事業運営を行いました。
- 2 障害グループ全職員研修として、外部講師による障害者差別解消法の学習会を開催し、理解を深めました。各施設単位でも、人権擁護や虐待防止について研修や支援の検証を行い、遵守の徹底を図りました。
- 3 社会貢献活動として、各施設が身近な相談窓口として地域の方の相談等に応じるとともに、宿舎の改修を行い、住まいのニーズにも応えられるよう環境整備を行いました。また、引きこもり青年の就労体験の場を提供しました。
- 4 世話人会の定期的な開催や研修会を実施し、グループホームの支援の向上を図りました。利用希望者の増加により、新たなグループホームの開設に向けて関係機関との調整にあたり、結果、法人所有の土地活用として建設を検討することになりました。
- 5 全施設で、災害時のBCP計画の見直しと訓練を行いました。施設間で訓練見学を実施し、自施設のBCP計画の見直しに生かしました。次年度も積極的に実施していきます。
- 6 新任研修及び中堅職員研修（人事交流）を実施し、今後の法人の基幹職員の人材育成を行いました。施設によっては、チューター制の導入により、一貫性・継続性の高い育成システムを活用し、効果を上げています。

1 障害者支援系施設

障害者自立支援法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行いました。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行いました。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図りました。

4 共同生活援助(グループホーム)

地域で共同生活を行うのに支障のない障害者の方を対象に、夜間や休日、共同生活を営む住居において、食事の提供、相談その他日常生活上の援助を提供します。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援します。

平成27年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	さやま園	施設入所支援
		生活介護
		短期入所
		特定相談支援事業

定員	96名
	96名
	4名
	名

利用者 年間稼働率	施設入所支援	89.9%	平均障害程度区分	4.97	
	生活介護	90.3%		4.97	
	小計	90.0%		*目標稼働率	100.0%
	短期入所	31.6%			

平均年齢	44.55歳	(最高	72歳)
		(最低	21歳)

平均在所期間 19.5年 (最長 51年)

年間入所	6名
年間退所	9名

主な入所理由	家族の介護力低下、介護困難
主な退所理由	死亡 入院

※入所支援

【施設運営状況】

- 年間を通して入院者が多く、稼働率が90%前後でした。急激な高齢化が進み、医療ケアが必要な利用者が退所する例が多くなりました。
- BCP訓練は1回の実施でしたが、避難訓練は消防署の効果訓練を受けて実施して、東村山消防署より優秀賞を受賞しました。
- 希望者の地域移行は実施しましたが、課題であるグループホームの建設には至りませんでした。法人駐車場跡地の有効活用し、グループホーム建設に向けて、関係機関との調整を行っています。
- 各地の会合に参加することによって、ネットワークを広げ、相互に有意義な情報を共有することができました。
- 社会貢献の一策として西棟を改造し、必要な方に住居と食事提供が可能となりました。近隣の社会福祉法人村山苑と共同利用して、貧困対策としての準備を進めています。

【利用者支援状況】

- 相談支援部会にも積極的に参加し、さやま園の約半分のサービス等計画を実施しました。地域の相談拠点として、東京都、東村山市と連携し、困難ケースに積極的に取り組むことができました。
- 行動障害支援者研修に参加したほか、虐待防止のアンケートや学習会を実施して、虐待防止に積極的に取り組むことができました。

- 3 高齢者対策のプロジェクト研究は、東京都社会福祉協議会支援部会で発表し高い評価を受けました。PTの協力のもと、「遊びリテーション」や「健口体操」など新しい取り組みを企画して、高齢化対策に取り組みました。
- 4 ようやく日中活動にもまとまりが見え、作品を各地区の展覧会に出品することができました。HPや園内通信を通して、広くアピールすることができました。
- 5 地域連絡会へは積極的に参加することができました。地域ネットワークを利用して、手作りクッキーの販路を広げたり、地域住人として利用者が参加することができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
ホームページソフト	972	ホームページソフト	972
陶芸窯	1,600	陶芸窯	1,140
職員更衣室改修工事	1,410	職員更衣室改修工事	1,410
南棟放送設備	1,000	職員休憩室	1,415
製パンエアコン設置	600		
PHS配線	1,930		
西棟改修工事	2,500		
購入等合計	10,012	購入等合計	4,937
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
2階東洗面台改修工事	2,500	冷温水発生器ポンプ修理	1,890
食堂入口改修工事	864	西棟改修工事	2,484
職員休憩室	1,310	西棟改修工事設計監督費用	216
		ホールトイレ改修工事	2,484
購入等合計	4,674	購入等合計	7,074
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
ホールトイレ改修工事	2,500	食堂入り口改修工事	994
洗濯室改修工事	2,500		
低床ベッド	900		
購入等合計	5,900	購入等合計	994
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
2階西洗面所改修工事	2,500	製パン室改修工事	1,076
		2階東洗面所改修工事	2,414
		2階西洗面所改修工事	2,495
購入等合計	2,500	購入等合計	5,985

年間利用状況(各月月初人員数)

施設入所支援のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	18	18	18	18	18	18	18	18
女性	78	76	76	76	76	76	76	75
合計	96	94	94	94		94	94	93

12月	1月	2月	3月	計
18	18	18	18	216
75	74	74	73	905
93	92	92	91	1,121

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

施設入所支援のみ

年度	実人員	年齢別内訳								
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	～54	55～
平成25年度	92	3	3	14	3	8	6	6	5	44
平成26年度	92	3	3	14	3	8	6	6	5	44
平成27年度	93	0	4	11	9	6	9	4	8	42

平成27年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	小茂根福祉園 生活介護		定員	40名	
	就労継続支援B			30名	
利用者	年間稼働率	生活介護	76.0%	平均障害程度区分	5.2
		就労継続支援B	91.3%		
		計	82.6%		
	平均年齢	33.1歳	(最高)	64歳	
			(最低)	19歳	
平均在所期間	12.2年	(最長)	33年		
年間入所	3名				
年間退所	6名				
主な入所理由	特別支援学校卒業				
主な退所理由	施設入所3 他事業所1 死亡2				

【施設運営状況】

- 1 板橋区及び関係機関と連携し、利用者サービスの向上に努めました。次期指定管理者の公募にてプレゼンテーションを行い、高い評価を頂き選定されました。
- 2 板橋区の期待を担い、区立福祉園の清掃作業共同受注に向けて当施設がリーダーシップを取り、進めてきました。次年度4月より区内で特別養護老人ホームの清掃を開始します。
- 3 定期的にご利用者を交えての事業継続計画（BCP）訓練を実施し、適宜見直しを図りました。また炊き出し訓練を行い、食事提供方法の確認を行いました。
- 4 職員個々の希望とキャリアに応じ、個別研修計画を立てて臨みました。特に外部講師を招いての施設内研修や、職員主体の研修報告会の充実を図りました。
- 5 生活介護サービスにおいて退園、引きこもり、入院等により例年になく稼働率が低下しました。委託事業であるため運営には直接的な影響はありませんが、対策を講じていきます。

【利用者支援状況】

- 1 昨年度掲げた権利擁護に関するスローガンを定期的に検証し、職員全体の意識の向上に努めました。また第三者委員を増員し、積極的な関わりを持って頂くことにより、苦情・相談体制の強化を図りました。
- 2 清掃作業の品質向上のため技術研修を重ね人材（利用者）の育成を図りました。また清掃作業の受注拡大を目指し、共同受注に向けて区立福祉園で協働して取り組みました。
- 3 自主製品（フクロウ珈琲、コモネスト）の収入アップを目指し、商品リニューアルや販売促進、商品管理、情報発信に重点的に取り組み、販路の拡大につながりました。
- 4 個別活動プログラムの充実を図りました。自己選択・意思決定ができる様々な場面を提供し利用者の自発性を引き出す支援に努めました。

- 5 ボランティアや実習生の受け入れを積極的に進め、交流を図りました。また、近隣の小学校と教育活動の一環としての障害者理解を深める交流を継続して行いました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(月間延人員) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	490	421	484	465	388	393	452	396
女性	228	185	239	213	191	194	214	187
合計	718	606	723	678	579	587	666	583

12月	1月	2月	3月	計
398	375	359	402	5,023
183	188	173	200	2,395
581	563	532	602	7,418

利用者状況推移(各年度3月1日現在) 生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	38	1	14	5	8	3	5	0	0
平成26年度	36	2	10	8	7	5	4	1	0
平成27年度	37	3	10	9	6	3	5	1	0

年間利用状況(月間延人員) 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	297	252	305	298	257	254	267	252
女性	316	256	334	321	257	267	313	289
合計	613	508	639	619	514	521	580	541

12月	1月	2月	3月	計
236	229	242	281	3,170
276	272	294	320	3,515
512	501	536	601	6,685

利用者状況推移(各年度3月1日現在) 就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	30	1	6	8	2	1	0	5	9
平成26年度	30	1	6	8	2	1	0	5	9
平成27年度	31	0	8	7	1	3	0	4	8

平成27年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	立川福祉作業所 生活介護	通所定員	30名	
	就労継続支援B		35名	
	就労移行支援		10名	
利用者 年間稼働率	生活介護	86.3%	就労移行支援	93.3%
	就労継続支援B	93.2%	計	90.5%
			*目標稼働率	95.0%
平均障害程度区分	3	平均年齢	34歳	(最高 61歳)
				(最低 19歳)
平均通所期間	14年	(最長)	44年	
年間入所	4名	主な入所理由	他施設からの異動など	
年間退所	3名	主な退所理由	就職 他施設の利用のため	

【施設運営状況】

- 1 改築工事は順調に進み、予定どおり3月には新園舎で運営をスタートしました。工事期間中（仮園舎での運営）は、利用者の安全の確保を第一に、支援が低下することのないように十分配慮しながら運営を行いました。
- 2 27年度は仮園舎での運営でしたが、利用者も混乱することなく、通常の作業活動等を行うことができていました。
- 3 虐待防止法を始めとした権利擁護に関して、その理解に努めながら、運営を行ってきました。特に次年度施行される障害者差別解消法についての研修を行いながら、施設運営に活かせるよう準備してきました。
- 4 行政機関や民間の福祉施設、商工会議所、商店街などの地域の関係機関と連携し施設運営を行ってきました。また、自立支援協議会など福祉のまち作りを進める中核となる会議等へも積極的に参加しました。
- 5 安定経営を目指すため、利用定員等の弾力運用を行い、収支のバランスを考えながら運営してきました。また、幅広いニーズに応えるため、職員の勤務体制等を利用者に合わせながらサービスの提供に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 仮施設でのサービス提供でしたが、受注作業の充実に努めました。また、土曜日の余暇支援など通常実施してきた活動の継続性を保ちつつ、利用者個々のニーズに応じた支援を行ってきました。
- 2 防災訓練に関しては、毎月避難訓練等を行なうとともに、地域の防災訓練にも参加し、利用者の安全をはじめ、地域防災の一翼を担うように努めました。
- 3 受注作業や地域の清掃活動など行政や企業等から仕事を確保しながら、利用者にあった作業の提供等を行ってきました。利用者も仕事にやりがいと責任感を持ちながら、施設を利用していました。
- 4 地域の就労支援センターやハローワーク等と連携を持ちながら、一般就労へのチャレンジもしてきました。また、実習先としても利用者の受け入れをしており、単に福祉作業所としてではなく、就労支援の一翼を担ってきました。
- 5 社会貢献活動の一環として、地域の福祉施設と連携し、一般就労を希望される方の実習先として施設機能を開放しました。また、就労移行支援の一環として、アセスメント実習の受け入れ先として施設機能を開放しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4~6月)		第1期(4~6月)	
仮設解体工事	8,640	夢オハナ非常通報装置	972
夢オハナ非常通報装置	972		
購入等合計	9,612	購入等合計	972
第2期(7~9月)		第2期(7~9月)	
利用者用パソコン	800	利用者用パソコン	390
購入等合計	800	購入等合計	390
第3期(10~12月)		第3期(10~12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1~3月)		第4期(1~3月)	
店舗用物品	30,530	店舗用物品	31,896
食堂用物品	8,009	食堂用物品	8,381
建替工事	585,737	建替工事	577,996
車両2台	6,773	家具・家電他	23,241
家具・家電他	41,141	防犯監視カメラ	972
給食ソフト	997	仮設解体工事	8,640
		給食ソフト	189
購入等合計	673,187	購入等合計	651,315

年間利用状況(月間延人員) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	415	357	421	408	379	397	415	384
女性	203	180	214	202	183	193	212	185
合計	618	537	635	610	562	590	627	569

	12月	1月	2月	3月	計
	365	363	361	446	4,711
	175	156	168	206	2,277
	540	519	529	652	6,988

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~
平成25年度	30		1	4		4	3	5	13
平成26年度	30		1	4		4	3	5	13
平成27年度	30	0	0	4	2	2	4	4	14

年間利用状況(月間延人員) 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	500	449	516	505	483	518	538	491
女性	206	188	224	217	198	195	204	188
合計	706	637	740	722	681	713	742	679

	12月	1月	2月	3月	計
	471	453	468	555	5,947
	197	207	205	238	2,467
	668	660	673	793	8,414

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~
平成24年度	32	4	10	5	4	5	1	1	2
平成25年度	32	4	10	5	4	5	1	1	2
平成27年度	35	2	10	14	1	8	0	0	0

年間利用状況(月間延人員) 就労移行支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	172	159	187	190	160	175	159	146
女性	46	43	47	44	41	45	43	42
合計	218	202	234	234	201	220	202	188

	12月	1月	2月	3月	計
	167	149	162	185	2,011
	40	41	38	50	520
	207	190	200	235	2,531

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

就労移行支援

年度	実人員	年齢別内訳							
		~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	50~
平成25年度	10	1	6	1	1	1			
平成26年度	10	1	6	1	1	1			
平成27年度	10	1	8	1	0	0	0	0	0

平成27年度 事業報告書（障害者支援施設）

施設名	東村山生活実習所 生活介護	通所定員	30	名		
	就労継続支援B		10	名		
	短期入所		2	名		
利用者 年間稼働率	生活介護	92.9	%	平均障害程度区分	5.6	
	就労継続支援B	91.0	%			
	小計	92.4	%	*目標稼働率	95.0 %	
	短期入所	35.7	%	平均障害程度区分	5.2	
	平均年齢	35.3	歳	(最高	66 歳)	
平均通所期間	6.4	年	(最長	9.9 年)	(最低	22 歳)
年間入所	3	名				
年間退所	4	名				
主な入所理由	他施設からの移動					
主な退所理由	他施設へ移管（入所、通所等）					

【施設運営状況】

- 1 障害者総合支援法、東京都・市区町村が示している各種運営要綱等を十分理解し、施設運営を適切に行いました。
- 2 東村山市をはじめとした当施設に関わる行政、地域の福祉施設等と連携を取りながら、地域福祉の推進の一助になるように運営を進めてきました。
- 3 常に収支のバランスをみながら、予算を執行し、三事業それぞれのサービスが安定的に行いました。
- 4 防災、防犯等施設の運営に対してリスクとなるものについて、それぞれに訓練等を実施してきました。また、職員間で十分な話し合いをしながら、効果的な対策がとれるように取り組みました。
- 5 一人ひとりの職員が日常の業務・行事などの施設運営に関して様々に参画し、施設の運営等に必要なが身に付けられるように取り組んできました。

【利用者支援状況】

- 1 障害者虐待防止法をはじめとした権利擁護に関して、その理解に努めてきました。第三者委員の方の保護者会への参加や利用者との面接等を実施し、適切な利用者サービスに努めました。
- 2 利用者支援に必要な知識や技術等の更なる習得のため、地域の福祉施設等から講師等を依頼し、障害への理解や介護技術等の研修を行い、利用者支援に活かしました。
- 3 危機管理体制の一つとして災害時（火災、地震等）に必要な支援に関して、利用者の状況を見ながら避難訓練等を毎月1回実施してきました。
- 4 就労継続支援B型の利用者については、お菓子づくり、販売等が主な支援内容ですが、販売経路等の拡大や利用者の特性に応じた作業内容の工夫ができてきました。
- 5 利用者の高齢化に起因し、地域での暮らしや施設での活動内容等の援助内容が変化してきています。必要に応じて関係機関と連携を取りながら「今、必要な利用者サービス」の提供をしてきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(月間延人員) 生活介護

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	314	269	332	329	282	267	301	272
女性	271	226	285	280	275	261	293	264
合計	585	495	617	609	557	528	594	536

12月	1月	2月	3月	計
275	267	285	309	3,502
267	257	255	310	3,244
542	524	540	619	6,746

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

生活介護

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	30	0	5	4	2	3	6	5	5
平成26年度	30	0	5	4	2	3	6	5	5
平成27年度	30	0	3	5	3	2	7	2	8

年間利用状況(月間延人員) 就労継続支援B

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	59	48	57	59	42	57	58	48
女性	162	148	167	167	112	105	119	110
合計	221	196	224	226	154	162	177	158

12月	1月	2月	3月	計
53	54	57	61	653
109	101	104	145	1,549
162	155	161	206	2,202

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

就労継続支援B

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	12	0	5	1	1	2	0	1	2
平成26年度	13	1	5	0	2	2	0	0	3
平成27年度	12	0	6	0	3	2	0	0	1

平成27年度 事業報告書（心身障害者福祉ホーム）

施設名 さくらんぼ

事業名
長期自立支援事業

利用実人員 4名
年間延人員 1,270名

年齢
最高 39歳
最低 24歳
男女比率 1対1.2

事業名
短期自立生活訓練事業

利用実人員 61名
年間延人員 870名

年齢
最高 67歳
最低 19歳
男女比率 1.8対1

事業名
緊急一時保護事業

利用実人員 22名
年間延人員 505名

年齢
最高 67歳
最低 19歳
男女比率 2.4対1

事業名
レスパイト

利用実人員 41名
年間延人員 218名

年齢
最高 67歳
最低 19歳
男女比率 1.8対1

事業名
移動支援事業

利用実人員 23名
年間延人員 222名

年齢
最高 75歳
最低 19歳
男女比率 1対2.2

事業名
特定相談支援事業

4件

【施設運営状況】

- 1 長期自立援護を利用されている方が望んでいる地域移行に向けて、区の担当者、就労先との関係を密にし、関係機関との連携と情報共有、またご家族との話し合いなどを設けながら、具体的な目標が持てるようにグループホームの見学などを実施してきました。
- 2 緊急一時、レスパイト、短期利用者など、多種多様なニーズに対応できる人材を育成するために、各種の研修への参加、施設内研修、OJTなどを実施し、支援者一人ひとりの知識、スキルの向上に努めました。
- 3 居住の場として安全且つ安心して生活が送れるように、非常階段の照明のLED化、食堂テーブルの修繕、襖の張り替え、窓ガラスの交換などを行い、住環境の整備を進めました。また、BCP訓練などを実施し、災害時の生活場所の確認、改善等を図りました。
- 4 指定相談支援事業と「地域ほっとサービス事業」を開始しました。関係機関やご家族等への周知を図り、地域の狭間で生活をしている方へのサポート体制を整えてきました。
- 5 豊島区障害者地域支援協議会、障害者虐待対応連絡会などに参画し、地域で生活している障害のある方、家族が継続した生活が安心して送れる地域となるよう各関係機関、団体等との共働を図り取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 長期自立援護利用者2名が新たに利用を開始しました。社会経験が乏しことから、社会的マナーや協調性、情操面への働きかけを中心にチームアプローチを行い、関係機関、家族などと連携し課題を共有しながら、具体的な目標へと繋がるよう支援を行いました。
- 2 個別支援計画作成時を中心に、一人ひとりの状態及び家族状況を把握し、利用目的・目標の確認を行うとともに、緊急対応が必要となり得るご家族をリストアップし、事前の準備（区との情報共有）を整えながらセーフティネットとしての役割を果たしてきました。
- 3 ご利用者が、安全で快適な生活が送れるように、各箇所の修繕を行ってきました。特に、清潔な環境、季節感、家庭的な雰囲気を意識した環境作りに努めました。また、有事への対応としての訓練を実施し、職員の危機意識の向上も図ってきました。
- 4 病状の変化に伴い、特別事業枠へと移行した利用者が2名おりました。必要書類の見直し、嘱託医・看護師・支援員との連携の強化、医療情報・ご本人の身体状況の共有化等を図り、安全にご利用できるように努めました。
- 5 新たな取り組みとして、指定特定相談事業を開始し、福祉サービスをあまり利用しておらず、依頼先の無い方を中心に進めてきました。「地域ほっとサービス事業」のガイドライン等を整え、事業連携を図りながら関係機関への情提供を行ってきました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
		階段非常照明及び2F事務所	432
購入等合計	0	購入等合計	432
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
		火災受信増設工事	248
		2.3F洗面台交換工事	432
		浴室ファンヒーター設置	190
購入等合計	0	購入等合計	870
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
支援ソフト	2,500	食堂テーブル修理	216
		食堂屋外器修理	196
購入等合計	2,500	購入等合計	412
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		厨房水洗工事	189
		自動ドア装置交換工事	648
		3Fガラス交換工事	444
購入等合計	0	購入等合計	1,281

利用者状況推移(各年度延人数)

年度	利用人員							
	長期自立支援		緊急一時保護		短期自立訓練		レスパイト	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成25年度	4	1,080	33	281	78	894	60	232
平成26年度	5	875	32	116	78	875	55	222
平成27年度	4	1,270	22	505	61	870	41	218

平成27年度 事業報告書（身体障害者福祉センター）

施設名 **さいわい福祉センター**

	事業名	実人員	延人数	年齢		男女比率
				最高	最低	
自立支援事業	知的訓練機能訓練	3	583	73	19	2対3
	身体障害者機能訓練	18	332			
介護支援事業	ショート・緊急	100	2,186	50	4	2対1
	入浴サービス	12	412	50	4	2対3
居宅生活支援事業	生活介護・就労移行	14	2,555	85	11	1対2
	居宅介護支援（ヘルパー）	21	1,195	66	43	2対1
育成事業	グループ育成	107	1,032			
	講座・講習	75	1,564			

障害者地域自立生活支援事業

相談内容	件数	利用者内訳	件数
相談事業（一般）	418	身体障害	138
特定相談	213	知的障害	223
就労支援（生活支援）	167	その他	57
〃（就労支援）	592		
計	1,390	計	418

【施設運営状況】

- 1 法人及び東久留米市等の研修の機会を活用するとともに、各々の事業において人権を尊重する支援に努めました。また、合理的配慮として、広報紙の点字化や音声化に取り組みました。
- 2 平成28年度からの指定管理者制度に応募し、これまでの事業の見直しと今後の5年間の事業運営を提案し、28年度から5年間の指定管理を受任しました。
- 3 大地震の被災30分行動の訓練を徹底し、必要備品の整備や職員の行動マニュアル等の見直しを行いました。また、東久留米市との防災無線の設置や、駐輪場に防犯カメラを設置し、防災・防犯対策を強化しました。
- 4 自立支援協議会への参加や就労支援事業者との関係者会議の開催、地域行事（夕涼み・フットサル大会）の運営事務局、介護保険関係事業者との連携、近隣大学の研修室での職場体験実習の開始など、地域との連携を深めました。
- 5 事業運営に欠かせない資格取得に積極的に取り組むとともに、幹部候補者については、法人の海外研修に参加し報告会を開きました。また、ヘルパーへの実技研修や意見交換会などを開催人材の確保に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 24時間365日、緊急時には即応し地域生活を支援するという支援目標を全職員が共通認識して、ニーズに応じてきました。緊急一時利用については、安全面での課題が明らかになり、今後、より安全に支援できる環境を整えます。
- 2 職場内外の研修に参加し、障害特性の理解を深めました。特に就労支援については発達障害の理解、職場内研修では視覚障害者の障害特性について理解を深めました。

- 3 近隣大学の研究室での実習体験や市民の方からの紹介によるマンション清掃や農地清掃などの業務請負を行い、地域での就労体験の機会を増しました。また、就労移行支援事業では、利用者の希望する職場への就労につなげました。
- 4 生活介護事業では、医療スタッフの支援頻度が急増し、呼吸困難など常時目が離せない状況が頻回し、送迎バスの看護師同乗も増加してきました。昨年以上に、緊急時対応の在り方が大きな課題となり、次年度のガイドラインの作成につなげます。
- 5 リフト、リハビリで使用するさまざまな器具の積極的な活用、朝礼前のラジオ体操の実施、ノー残業日の試行などにより、介護負担の軽減をはかりました。また、市内事業所にリフターの貸し出しを行い、安心・安全な介護に向けて情報発信しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
入浴室改修工事	1,000	UVカットフィルム工事	238
		ファンコイルユニット修理	259
購入等合計	1,000	購入等合計	497
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
点字ブロック改修工事	500	視覚障害者用音声読上機器	85
購入等合計	500	購入等合計	85
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
送迎バス(協議)		トイレ個室扉・手洗い自動水栓交換	1,105
購入等合計	0	購入等合計	1,105

利用者状況推移(各年度延人員)

年度	自立支援事業				介護支援事業			
	知的訓練		身障機能		ショート・緊急		入浴	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成25年度	3	953	14	347	81	2,228	11	426
平成26年度	2	480	19	350	99	2,214	12	455
平成27年度	3	583	18	332	100	2,186	12	412

年度	居宅生活支援事業				育成事業			
	生活介護/就労移行		ヘルパー		グループ育成		講座・講習	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
平成25年度	13	2,377	23	1,281	113	1,232	63	961
平成26年度	14	3,033	22	1,287	100	1,170	97	1,728
平成27年度	14	2,555	21	1,195	107	1,032	75	1,564

平成27年度 事業報告書（共同生活援助事業）

施設名 **アミニティ富士見** 定員 **43**名

利用者 年間稼働率 **99.3**%

【施設運営状況】

- 1 利用者預り金等管理要綱改正と金銭管理体制の強化に取り組みました。金銭台帳の帳簿書式と手順の統一を図り、チェック機能の確立で適正な管理体制を整えました。
- 2 アミニティ富士見とグリーンハイツの夜間支援体制を変更し、機械警備巡回型から夜間支援員を配置した夜間滞在型管理体制へ移行しました。
- 3 新たなグループホーム開設に向けて取り組み、物件提供等の具体的な進捗もありましたが、建築基準法・消防法・バリアフリー法等の条件が高く、実現までには至りませんでした。
- 4 利用者支援力向上のため、世話人の外部研修への積極的な参加を促しました。また、月例世話人会において、具体的事例を題材にした勉強会を実施し、情報の共有を図り人材育成に取り組みました。
- 5 改正消防法施行によるグループホームの消防設備の基準が改正されました。そのため必要な消防設備を整備しました。見なし適用となっていた項目も撤廃されたため、次年度に向けて消防計画及び消防設備の見直しに取り組みました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者一人ひとりに応じた個別支援計画作成及びモニタリングの実施で、利用者のニーズを掘り出した支援に取り組みました。サービス等利用計画は41名実施、残る2名については援護実施機関の判断により未実施でした。
- 2 地域の関係機関と協働し、退所者した元利用者の地域生活継続のためアフターケアを実施し、日帰り旅行や食事会等を行ない余暇充実に繋がりました。
- 3 関係機関と様々な連絡調整、職場訪問、カンファレンスなどにより、課題を共有し、成年後見制度の活用等を行ないました。
- 4 利用者の健康管理の徹底に向けて、さやま園の看護師派遣による健康相談助言や感染症予防、インフルエンザ予防接種などに取り組みました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	42	0	2	11	8	3	5	5	8
平成26年度	42	0	2	11	8	3	5	5	8
平成27年度	42	0	0	8	6	7	6	3	12

平成27年度 事業報告書（共同生活援助事業）

施設名 レヂオンス巣鴨

定員 12名

利用者 年間稼働率 98.2%

【施設運営状況】

- 1 障害保健福祉施策による、福祉サービス報酬の改正などに注視し、加算額の変更など迅速且つ適切に対応し、安定した運営に努めました。
- 2 管理者・サービス管理責任者を中心に、世話人会を毎月実施し、利用者の状況・支援体制などの確認を行い、業務日誌、サービス提供記録・ケース記録などを通して、安定したサービスの提供に努めました。
- 3 世話人の変更等に対し、グループホームの直接支援に入る前に、さくらんぼ事業での研修を行い、世話人としての心構えや支援の在り方、権利擁護などを学ぶ機会を設けるとともに、外部研修などにも参加し、世話人の資質向上に努めました。
- 4 世話人スタッフ会を定期的に設け、業務内容の統一・標準化を図ってきました。さくらんぼ職員も入ることで、利用者の課題等を整理し、世話人間の情報共有と共通理解の重要性を深め、支援意識の向上を図りました。
- 5 年2回の防災訓練を実施し、災害時の避難方法、避難場所の確認を行い、防災意識の向上を図りました。また、防災備品（非常食、防災頭巾）の入替・補充等を行いました。消防法改正に伴う防災設備の設置について検討を重ねてきました。

【利用者支援状況】

- 1 本人主体の豊かな生活が継続できるよう、サービス等計画、個別支援計画作成時には出来る限りご家族にも参加いただき、利用者一人ひとりの意思を確認し、ご希望に沿った計画となるように取り組みました。
- 2 家庭的で温かみのあるグループホームの中、利用者が主体的に生活が送れるよう努めました。特に食事・買物では個々の希望に沿った個別対応や旅行など全体で楽しむ外出などでは、互いの関係性が円滑で楽しくゆったりと過ごせる雰囲気・環境作りを行ってきました。
- 3 利用者の高齢化に伴い、高齢者デイサービスを利用するなど、サービス提供の枠を広げて提供しました。定期通院のほか、突発的な通院なども多くなり、さくらんぼ職員による支援を柔軟に行いました。利用者1名が高齢者施設に移行し、新たに1名を受け入れました。
- 4 夜間を想定した防災訓練を実施し、自力での避難、避難場所の確認等を行い、一人ひとり防災意識を高められるよう取り組みました。高齢化に伴う自力避難の難しさなどが表出化し、課題の抽出・検討を行いました。
- 5 通所先・就労先・ご家族・病院等との連絡・連携を図り、利用者状況を共有化することでトータルの支援を行いました。年に一度、利用者、世話人、さくらんぼバックアップ職員が一同に会し、親睦を兼ねた交流会を実施し、利用者支援の向上に努めました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	12				1	1	2	1	7
平成26年度	12				1	1	2	1	7
平成27年度	12				1	1	2	2	6

平成27年度 事業報告書（共同生活援助事業）

施設名 夢オハナ

定員 12名

利用者 年間稼働率 100.0%

【施設運営状況】

- 1 報酬改定等を含む障害者施策の理解に努め、収支のバランスを考えながら、運営を行いました。
- 2 法人内のそれぞれのグループホームと連携しながら、組織的に支援基盤の構築をしていきました。
- 3 法人内のグループホームと連携し、開設に向けた準備等必要な情報を得るよう努めました。
- 4 人権、自己選択など利用者の権利・尊厳を尊重した支援の強化のため、世話人等を含めた研修を行ってきました。
- 5 防災対策として非常通報装置を備えました。また、避難訓練等定期的に利用者の方々と話し合いを持ちながら対策強化に努めました。

【利用者支援状況】

- 1 個別支援計画に基づき、利用者サービスの向上をめざしました。利用者満足についても高い評価を得ました。
- 2 家庭的な雰囲気作りを心掛けた支援を世話人を中心に演出してきました。利用者もとても穏やかに過ごすことができた様子でした。
- 3 利用者の障害状況に応じて、地域の病院など地域資源を活用しながら、安心した生活が送れるよう支援してきました。
- 4 利用者の社会参加という視点を大切にするため、できるだけ希望に応じた外出やイベントなどの参加が出来るように支援してきました。
- 5 避難訓練等を定期的に行いながら、利用者の安全の確保等について、日々世話人等と話しあいを持ちました。

利用者状況推移（各年度3月1日現在）

年度	実人員	年齢別内訳							
		～19	～24	～29	～34	～39	～44	～49	50～
平成25年度	12		3	6	1		1		1
平成26年度	12		3	6	1		1		1
平成27年度	12		1	8	2			1	

4 児童・女性支援系福祉サービスの経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営しました。

【グループ総括】

- 1 個人のニーズに応じた個別支援計画に沿って子ども、女性、親子の自立を支援しました。その結果、公営住宅、民間賃貸住宅、グループホーム等へ自立することができました。また、記録の取り方マニュアルを完成させ、各施設で支援に活かす記録に取り組みました。
- 2 接遇研修、支援力向上研修、主任・副主任研修を実施し、施設間交流研修を行い、職員の人材育成、資質の向上を図りました。
- 3 グループ共通の課題である大人と子どもの発達障害について研修を行いました。また、子どもが楽しく過ごせる場や機会を提供するとともに、警察等の関係機関と連携し利用者が安心して過ごせる環境を整えました。
- 4 法令を遵守し、法人の基本理念をもとに、各施設適切な運営に努めました。また、第三者評価を受審し、運営課題の改善に取り組みました。
- 5 職員のメンタルヘルスの充実を図るため、法人の取り組みに加え、メンタルヘルス研修を実施し、職員が心身共に健康で働ける職場環境の提供に努めました。
- 6 地域に向け「同援子ども学習室」を開講しました。延270名の児童に継続して学習支援を行うと共に、大人と安心して過ごせる機会を提供し、地域貢献の取り組みを始めました。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援しました。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、被虐待児、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援しました。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行いました。

4 児童厚生施設・放課後児童健全育成事業

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営しました。
また、保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後等に児童センターを利用できるよう、学童クラブを運営し健全な育成を図りました。

平成27年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ武蔵野		定員	20	世帯
			緊急一時保護	1	世帯
利用者 年間稼働率	87.4	%	入所	87.4	%
*目標稼働率	100.0	%	緊急一時保護	33.3	%
平均在所期間	1.4	年	(最長)	3.6	年
年間入所	11	世帯		25	名
年間退所	6	世帯		14	名
主な退所先	公営住宅、民間賃貸住宅				

【施設運営状況】

- 1 法令を遵守し、法人基本理念、方針、児童女性支援系グループの方針に基づき、利用者の自立を支援しました。
- 2 苦情対応や、ヒヤリハットを受け、業務改善に取り組みました。特に、学童対応、補助保育について検討し、利用者が安心、安全な生活が送れるように努めました。
- 3 完成した記録の取り方マニュアルの活用した記録方法の検討を行い、利用者支援に活かす記録の改善を図りました。
- 4 地域で生活する退所者向けの支援を充実させると共に、杉並区地域ネットワーク作り連絡会に参加し、今後の社会貢献事業についての検討を始めました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者の人権、権利擁護を尊重し、利用者の意向を汲み自立を支援しました。その結果、6世帯が公営住宅、民間賃貸住宅に転居し自立した生活を始めています。
- 2 2年間の利用期間を見据えて、個別支援計画作成時には具体的な目標を利用者自ら取り組めるよう支援しました。
- 3 幼児世帯の補助保育、学童の放課後対応、中高生への支援等利用者の状況に合わせて支援しました。特に大学進学に向けては奨学金助成や進学後の生活に向けて支援を行いました。
- 4 退所後の不安を解消するため、退所時や、退所先訪問による聞き取りを通して、病児保育等の補助保育や学童支援を見直しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
相談スペース設置	550	相談スペース設置	486
購入等合計	550	購入等合計	486
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
支援システム更新	3,800		
購入等合計	3,800	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
世帯数	14	15	17	16	17	17	18	20
児童数	19	20	22	22	23	23	25	27
合計	33	35	39	38	40	40	43	47

12月	1月	2月	3月	計
20	18	20	19	211
27	24	27	25	284
47	42	47	44	495

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成25年度	4	7	11
平成26年度	4	6	10
平成27年度	6	8	14

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
16	21	37	20	48
12	15	27	16	37
13	17	30	19	44

平成27年度 事業報告書（母子生活支援施設）

施設名	サンライズ青山		定員	20	世帯
			緊急一時保護	1	世帯
利用者 年間稼働率	40.5	%	入所	40.5	%
*目標稼働率	95.0	%	緊急一時保護	17.2	%
平均在所期間	3.4	年	(最長)	12.9	年
年間入所	4	世帯	10	名	
年間退所	6	世帯	13	名	
主な退所先	都営住宅・民間マンション・他母子生活支援施設				

【施設運営状況】

- 1 利用者及び関係機関へ「事業計画書」「事業報告書」を配布し、法令遵守（コンプライアンス）に基づく支援を提供しました。本年度は暫定定員19世帯となりました。
- 2 法人及び児童女性支援系グループ研修、東京都社会福祉協議会等の外部研修へも積極的に参加して、職員個人のスキル向上に努めました。
- 3 ストレスチェックの実施等、健全で明るく透明性の高い職場環境の整備に努めました。
- 4 地元町会・教育機関・地元行政・大手企業のイベントへ積極的に参加して、利用者支援に対する共通理解及び、地域貢献事業の推進に繋がりました。
- 5 安全な生活環境を保持するため、地元町会活動に対する施設開放、防犯夜回りの拠点として施設を提供しました。

【利用者支援状況】

- 1 出産間近な妊産婦を受け入れ、安心した生活を送れる支援と環境を提供しました。
- 2 自立支援計画に基づく支援の結果、退所6世帯全員が就労を継続して、転宅先の地域で健全な社会生活を営んでいます。
- 3 母親への就労支援として、関係機関の情報提供・補助保育・保育所の斡旋等、安定した収入の確保に向けた支援をしました。
- 4 地元町会・大手企業と協賛行事（バザー・もちつき）の実施は、地域住民活動への参加意欲の向上に繋がりました。
- 5 退所6世帯の内、5世帯のアフターケアとして、職場及び自宅訪問・小学校との連携を図り、退所後の円滑な地域生活を支援しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
利用者居室修繕	500		
購入等合計	500	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
利用者居室修繕	500		
購入等合計	500	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
利用者居室修繕	750		
支援システム更新	3,500		
購入等合計	4,250	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
利用者居室修繕	750		
購入等合計	750	購入等合計	0

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
世帯数	10	8	8	8	8	8	9	8
児童数	12	10	10	11	11	11	12	11
合計	22	18	18	19	19	19	21	19

12月	1月	2月	3月	計
8	8	7	8	98
11	11	9	11	130
19	19	16	19	228

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成25年度	4	4	8
平成26年度	4	4	8
平成27年度	4	5	9

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
14	17	31	18	39
14	17	31	18	39
4	6	10	8	19

施設名	サンライズ万世		定員	20	世帯
			緊急一時保護	2	世帯
利用者 年間稼働率	94.0	%	入所	94.0	%
*目標稼働率	100.0	%	緊急一時保護	10.2	%
年間入所	9	世帯	22	名	
年間退所	12	世帯	37	名	
平均在所期間	1.6	年	(最長)	3.9	年
主な退所先	都営住宅、民間アパート				

【施設運営状況】

- 1 法人の理念・方針および母子生活支援施設のミッションに基づき支援して参りました。入所理由に関らず、精神面の不安に対し、常に傾聴の立場で寄り添い、相手の気持ちを受け入れて参りました。
- 2 職員全員が経営感覚と利用者にとって思い遣りのある支援姿勢を確認し合い、サービスを提供してまいりました。
- 3 職員個々のスキルと組織力の向上を目指し、個別育成計画に沿った研修参加が実施できました。次年度に向けては、更に研修報告の精度を上げてまいります。
- 4 職員会議や随時面談により、職員個々の役割確認や各自が抱えている課題を共有し、お互いを尊重した業務遂行に努めてまいりました。
- 5 近隣教育機関等と連携を意識した防犯面では、安全安心に過ごせる居場所として地域の子ども達に施設を開放をしました。また、地域防災の為、食糧等の備蓄確保とBCPの取組みを重要課題として取組みました。

【利用者支援状況】

- 1 様々なニーズを抱え入所される利用者に対し、ありのままの自分で居ていただけるよう、笑顔と寄添う姿勢を大切に関わって参りました。
- 2 個別の課題は、その方の意向を十分踏まえた自立支援計画を作成し、関係主管と連携のもと支援を行って参りました。
- 3 母親の支援では、社会的自立要素である経済的自立に向けた就労支援をはじめ、就労時の補助保育や住宅申請にも力を入れて参りました。特に、法人内施設を社会資源と考え、就労につなげております。
- 4 特に子への支援では、学校等関係機関との連絡調整や学習支援、レクリエーション他、常にアタッチメントを考え、日々健全な成長につながるよう取組みました。特に学習支援では、学習ボランティアの協力を得て、昨年以上の実績をあげております。
- 5 退所者支援であるアフターケアは、個別な計画に沿った相談援助を行って参りました。 ※実績35世帯、述べ273件（内訳特記：電話190件、来所75件、訪問5件 他3年以上が87件、5年以上が10件）

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
下駄箱・収納棚設置	2,450	居室ガス給湯器交換	2,226
購入等合計	2,450	購入等合計	2,226
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
居室ガス給湯器交換 集会室用テーブル購入	2,500 500	下駄箱・収納棚設置 集会室用テーブル購入	2,258 321
購入等合計	3,000	購入等合計	2,579
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
支援システム更新	3,500		
購入等合計	3,500	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
世帯数	19	19	20	19	20	19	19	20
児童数	34	33	35	34	35	33	33	35
合計	53	52	55	53	55	52	52	55

	12月	1月	2月	3月	計
	20	19	19	18	231
	35	33	31	29	400
	55	52	50	47	631

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	生活保護受給		
	世帯数	児童数	合計人数
平成25年度	16	23	39
平成26年度	16	29	45
平成27年度	16	27	43

その他			計	
世帯数	児童数	合計人数	世帯数	人数
3	6	9	19	48
3	6	9	19	54
2	2	4	18	47

平成27年度 事業報告書（児童養護施設）

施設名	双葉園	定員	38名
施設名	高嶋の家（地域小規模）	定員	6名
施設名	くすのき（地域小規模）	定員	6名

昭島市子どもトワイライトステイ事業 2名 年間延利用者数 324名

本園	年間稼働率	99.4%	本年・GH合算稼働率	99.5%
高嶋の家	年間稼働率	100.0%		
くすのき	年間稼働率	100.0%		
計		95.5%	平均年齢	10.8歳（最高18歳）
	*目標稼働率	100.0%		（最低3歳）
	男女比率	5対5		
	年間入所	1名		
	年間退所	4名		
	主な入所理由	虐待		
	主な退所理由	家庭復帰・就労自立・措置変更		

【施設運営状況】

- 適切な予算執行、円滑な事業活動等を実施し、健全で透明性のある施設運営を行ってきました。
- 昭島市、地域自治会、学校等と積極的に連携を図り、地域社会における児童福祉推進の拠点としての役割を担ってきました。
- 昭島市トワイライトステイ事業の利用者は、前年度より1.2倍に増えました。今年度も、地域の子育て支援の充実に向けて積極的に取り組んできました。
- 医療との連携を図る専門機能強化型事業を推進し、治療的ケアのスキルアップと職員の専門性の向上のための研修を実施して、子ども達への支援力向上に取り組みました。
- 本園の小規模ユニット工事を実施しました。小規模ユニットの生活から、家庭的養護の一層の推進と子ども一人ひとりに合った自立支援をさらに進めてきました。

【利用者支援状況】

- 今年度もケース検討会を実施し、子どもへの支援の平準化、チームケアの必要性について理解を深めました。また、専門機能研修を通して、組織目標、子どもの人権等を学び利用者支援の向上を図りました。
- 今年度も児童相談所と連携し、入園から家庭復帰まで一貫して支援していく体制を確認し、家庭調整と卒園生のアフターケアを行いました。

- 3 子ども達が安心して生活していくために権利擁護委員会を定期的を開催し、職員からアンケートを取り、子どもの人権及び権利擁護の意識向上を図りました。また、子どもの自治会も定期的を開催し自治意識を高めてきました。
- 4 今年度も年2回、苦情解決第三者委員会を開催し、子ども達からの相談を受けていただきました。ボランティアも毎月10名以上の方に来園していただき、子ども達の支援に協力していただきました。
- 5 本園男子・女子グループの小規模ユニット工事が終了し、全てのユニットで家庭的な雰囲気環境が整備され、子ども達がゆったりとした生活ができるようになりました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
幼児給湯器交換工事	548	幼児給湯器交換工事	548
購入等合計	548	購入等合計	548
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
厨房機器一式入替購入	3,524		
購入等合計	3,524	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
ユニット化工事 仮設工事	96,090 8,400	厨房機器一式入替購入	2,646
購入等合計	104,490	購入等合計	2,646
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
		ユニット化工事 ユニット化工事施設要望追加分 仮設工事	146,400 2,117 5,724
購入等合計	0	購入等合計	154,241

年間利用状況(各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男児	25	25	25	25	25	25	25	25
女児	25	25	25	25	25	24	25	25
合計	50	50	50	50	50	49	50	50

12月	1月	2月	3月	計
25	25	24	24	298
25	25	25	25	299
50	50	49	49	597

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	学年別内訳				
		幼児	小学生	中学生	高校生	その他
平成25年度	48	8	23	11	6	
平成26年度	48	8	23	11	6	
平成27年度	49	8	19	14	8	

平成27年度 事業報告書（婦人保護施設）

施設名	いこいの家		定員	40名	
利用者	年間稼働率	28.8%	*目標稼働率	50.0%	
本入所	平均年齢	42.9歳	(最高)	57歳	平均在所期間
			(最低)	24歳	(最長) 0.9年
	年間入所	8名	主な入所理由	居所無	
	年間退所	13名	主な退所理由	民間アパート・グループホーム	
	緊急のみ稼働率	53.7%			
緊急	平均年齢	32.6歳	(最高)	63歳	
			(最低)	21歳	
	同伴児者	5.1歳	(最高)	18歳	
	平均年齢		(最低)	0歳	
	年間利用者数	120名	主な入所理由	夫の暴力	
			主な退所理由	母子生活支援施設、帰郷	

【施設運営状況】

- 1 根拠法に基づき、女性の人権を守り、一人ひとりのそれぞれの自立を支援しました。
- 2 職員の個別育成計画に基づき、各職員の資質向上のため、研修や日々の業務を通して育成に努めました。また、法人の研修だけでなく、部会やウィメンズセンター、精神保健福祉センター等の研修も活用しました。
- 3 第三者評価利用者調査の報告を受け、課題を把握、継続して改善に取り組んでいます。また、苦情解決制度の第三者委員の協力も得て、利用者支援の向上に努めました。
- 4 きめ細かいサービス提供を目指し、食堂・厨房改修工事を行いました。次年度には単独調理が出来るようなり、稼働率低下の解消に努めます。
- 5 地域の中の施設として、施設の特性を踏まえた上で、施設機能を活用して地域社会に貢献しようと準備を進めましたが、具体的取り組みには結びつかず次年度の課題となりました。

【利用者支援状況】

- 1 本入所・緊急対応と分担してチームケア体制を図りました。今年度は多摩地区においては多子家庭の利用が増加しました。
- 2 規則正しい生活、外部保健師による生と性の学習会等を通して、利用者自身が心身の健康を保てるように支援を行いました。

- 3 生活支援の充実、自立へのステップとして、基本的な生活習慣や生活技術の獲得ができるように、個々の状況に合わせて支援を行いました。
- 4 利用者のニーズに合った食事の提供を図るため、次年度からの厨房単独化を目指し、食堂・厨房の改修工事を完了し、準備を進めることが出来ました。
- 5 利用者の人権を尊重し、様々な課題を一つひとつ解決しながら、一人ひとりに合った自立に向けて支援しました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
壁結露防止工事	584		
食器消毒保管器他 (給食センター)	1,019		
購入等合計	1,603	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
食堂・厨房改修工事	30,000		
食堂・厨房器具備品	9,333		
購入等合計	39,333	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
居室内装工事	1,017	食堂・厨房改修工事	31,414
		食堂・厨房器具備品	6,493
		空調移設工事	583
購入等合計	1,017	購入等合計	38,490

年間利用状況(各月月初人員数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
本入所	7	8	9	10	7	6	6	6
緊急一時	7	3	4	4	11	14	0	6
合計	14	11	13	14	18	20	6	12

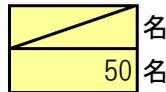
12月	1月	2月	3月	計
5	3	4	6	77
10	2	13	5	79
15	5	17	11	156

利用者状況推移(各年度3月1日現在)

年度	実人員	年齢別内訳							
		～34	～39	～44	～49	～54	～59	～64	65～
平成25年度	10	3	0	3	2	0	0	2	0
平成26年度	7	1	0	2	1	3	0	0	0
平成27年度	6	2	1	0	1	0	2	0	0

施設名 昭島市児童センターぱれっと・つつじが丘北学童クラブ

定員 児童センター
学童クラブ



登録人数 32名

【施設運営状況】

- 1 ぱれっとの年間利用者数は63,420名で、一日の平均来館者は220名でした。つつじが丘北学童クラブの年間育成日数は294日で、総出席児童数は9387名でした。児童センター全体の総利用者は72,807名で、対前年度（人）は-112名、比率としては0.15%減でした。つつじが丘北学童クラブの運営委託業務は平成27年度をもって終了致しました。
- 2 昨年度末より試験的に立ち上げた、地域子育て支援事業「子育て仲間づくり・くじらっこ」が、年間を通して定着しました。子育て中の母親のストレス解消と、同年齢の子どもを持つ母親同士が情報交換をしたり、育児の悩みなどを気軽に相談できる環境を整えました。事業終了後、保護者同士が児童センター以外の場所でも集うようになり、事業本来の目的が達成されました。
- 3 保護者・小学生・中学生・高校生の利用者区別に利用者アンケートを実施しました。常設遊具や来館児童に関することなど、様々な面からご意見を頂きました。アンケートで得られた意見を施設の課題とし、改善に取り組みました。利用者から頂いたご意見には回答をし、館内掲示にて利用者へ公開しました。
- 4 ボランティアの方々にご協力頂きながら、様々な行事や講習会を実施しました。また、近隣の小学校・中学校・高校の施設見学や職場体験などの受け入れも積極的に行いました。地域の方に広く児童センターを理解してもらい、利用者の獲得につなげました。
- 5 研修計画に沿って法人研修・グループ研修・施設内研修及び関係団体主催の各種研修に参加し、職員の専門性と、利用者支援の向上を目指した人材育成に努めました。学童クラブにおいては、障害児対応研修等に参加し、発達障害の理解や個別支援方法について学びました。児童の発達に応じた支援に活かすことができました。

【利用者支援状況】

- 1 利用者が安全に安心して遊べる空間と環境を常に整備し、遊びに必要な遊具や周辺機器の定期的な点検と消毒を徹底しました。館内設備の修繕や修理が必要な箇所については、行政機関と随時協議しながら行いました。
- 2 学童クラブは遊びや行事を通じて、児童が健康に健全に育つよう児童の育成に努めました。アレルギー対応児や配慮を必要とする児童については、各家庭・学校を含む各機関と連携を取りながら支援し、児童が安心して過ごせる環境を整えました。
- 3 地域の小学校・中学校と必要に応じた連携をし、児童センターに来館する児童・生徒の情報交換やその後の支援の向上に役立てました。
- 4 児童センター運営委員会を年2回実施しました。学識経験者・各関係機関の代表者・公募市民及び児童代表に対して、施設の運営状況を報告しました。委員会が出された課題や改善点等については、今後の利用者サービスに活かすよう取り組みました。
- 5 地震を始めとする災害に対して、今年度は減災を視野に入れた訓練を実施しました。利用者にも積極的に訓練に参加してもらうことで、防災に対する意識を高めてもらいました。また、職員・利用者の役割と行動を共に確認し合うことができました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
第1期(4～6月)		第1期(4～6月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期(7～9月)		第2期(7～9月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期(10～12月)		第3期(10～12月)	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期(1～3月)		第4期(1～3月)	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況(延利用者数)

昭島市児童センターぱれっと

時間帯	未就学		小学生		中学生		高校生		見学者	合計
	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者	児童	保護者		
午前	9,291	7,952	3,403	301	464	9	634	2	1,523	23,579
午後	6,094	5,182	17,379	725	4,637	57	1,890	3	346	36,313
夜間	99	103	85	77	844	3	2,026	0	291	3,528
合計	15,484	13,237	20,867	1,103	5,945	69	4,550	5	2,160	63,420

年間内訳		
児童	保護者	見学者
13,792	8,264	1,523
30,000	5,967	346
3,054	183	291
46,846	14,414	2,160

年間利用状況(延利用者数)

昭島市つつじが丘北学童クラブ

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
男児	2,340	1,542	1,377	205	5,464
女児	1,784	1,008	1,131	0	3,923
合計	4,124	2,550	2,508	205	9,387

	育成日数	出席児童数	在籍児童数	1日あたり出席児童数
平日	243	9,075	12,483	37
土曜日	51	312	2,624	6
合計	294	9,387	15,107	32

5 医療事業の経営

医療保護施設・医療施設

医療を必要とする患者に指定医療機関として、適切な医療の給付を行うとともに、地域の方々に対して安全な医療を提供しました。

施設名 昭島病院 病床数 199床

【経営状況】

- 1 地域包括ケア入院医療管理料算定の準備をプロジェクトチームを立ち上げ取り組みました。
- 2 院内組織体制を強化するため、組織図や職務階層及び職務分掌を見直し、より実態にあった組織作りに取り組みました。
- 3 救急患者受入れに必要な医療機器導入の検討や院内体制の強化を図り、「断らない医療・安全かつ質の高い医療」の提供に努めました。
- 4 学会参加の他、各部署での研修を計画的に実施しました。
- 5 入院1日平均患者数126人（前年度対比：-12人）、入院診療収益、1,595,524千円（前年度対比-5.7%）、外来1日平均患者数464人（前年度対比：-4人）、外来診療収益は、909,902千円（前年度対比+2.5%）となりました。
- 6 入院1日当り平均単価、34,598円、（前年度対比：+990円）、外来1日当り平均単価、6,984円、（前年度対比：+233円）となりました。

【診療状況】

- 1 病床利用率は、63.2%となり、前年度対比-6%、救急車受入台数は、804台、前年度対比で-187台、手術件数は、499件となり、前年度対比で、+18件となりました。
- 2 病棟カンファレンスを積極的に行い、医療事故防止、チーム医療推進に努めました。
- 3 DPC対象病院として、急性期患者の対応をするとともに地域医療機関や福祉施設との連携を図りました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名 (購入・工事)	金額	物件名 (購入・工事)	金額
第1期 (4～6月)		第1期 (4～6月)	
高周波焼灼電源装置	978	高周波焼灼電源装置	918
シングルトリガー	3,229	栄養科システムソフト	1,214
栄養科システムソフト	1,480	一般X線撮影装置 RADREX	4,860
液晶モニター	993	栄養科システム B554M	190
一般X線撮影装置	5,980	電動式ハンドピース CD4	1,554
		電動式ハンドピース システム4	1,545
		MRI 冷凍機 (オーバーホール)	3,763
購入等合計	12,660	購入等合計	14,044
第2期 (7～9月)		第2期 (7～9月)	
		ジェネレーター-GEN11	1,595
購入等合計	0	購入等合計	1,595
第3期 (10～12月)		第3期 (10～12月)	
調剤支援システム	7,398	医用テレメーターWEP-5218	1,566
自動免疫分析装置	3,600	A-VインパルスシステムAV6000	103
診療録管理システム	2,139	シュレッダー	389
		タニケットシステム	940
購入等合計	13,137	購入等合計	2,998
第4期 (1～3月)		第4期 (1～3月)	
電動ベッド	5,000	残尿測定器	756
シュレッダー	558	診療費支払機 一式	7,472
自動軟水器装置	1,188	全自動免疫測定装置	778
		冷凍機修理	918
		診療録管理システム	2,073
購入等合計	6,746	購入等合計	11,997

患者数実績

年度	1日あたりの平均患者数	
	外来	入院
平成25年度	481	144
平成26年度	468	138
平成27年度	464	126

減免内訳

区分		件数	金額
入院	実人数	生活保護	104
		健保・国保	0
		無	0
		計	104
	延人数	生活保護	1,694
		健保・国保	0
		無	0
計		1,694	813,570
外来	延人数	生活保護	0
		健保・国保	0
		無	3
		計	3
計		3	34,090
その他		0	0
合計		1,697	847,660

施設名 **訪問看護ステーション**

1日平均利用者数 **13.4** 名 男女比率 **3** 対 **7**

平均年齢 **81.0** 歳 （最高 **102** 歳 最低 **19** 歳）

介護保険延人数	74 名
医療保険延人数	27 名
計	101 名

【施設運営状況】

- 1 医療分野の訪問回数が伸びず減収になりました。
- 2 看護とリハビリをセットで提供する体制をとり、週1回程度提供できました。
- 3 自転車の使用を増やし経費削減努力をしました。
- 4 恒例の家族会は、好評でした。独居や介護者が参加出来ないケースが増加していました。
- 5 地域包括ケアシステム導入に向け、病棟と自宅を繋ぐ役割など確認しました。

【利用者支援状況】

- 1 年間延人数は、前年度対比で、8名増加しました。
- 2 緊急訪問にも対応しましたが、1日平均利用者数は、13人と前年度と変わりませんでした。
- 3 ST1名を病院との兼務により、新規利用者の確保を図りました。
- 4 新システムを導入し、タブレットでの記録など、看護の質の向上に繋がりました。
- 5 地域包括ケアシステム導入に向け、利用者への説明を個別に行いました。

【施設整備状況】

（単位：千円）

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
車両	800		
購入等合計	800	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
購入等合計	0	購入等合計	0

年間利用状況（月間延訪問者数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	19	19	22	20	21	22	21	23	23	20	20	22	252
女性	50	55	50	50	49	47	45	46	43	41	39	39	554
合計	69	74	72	70	70	69	66	69	66	61	59	61	806

6 収益事業の経営

平成27年度 事業報告書

1 オフセット・活版印刷事業

施設名 **事業局**

【経営状況】

- 前年に比べ印刷事業収益は850万円の増収となりました。310万円を本部に繰入れました。
- オンデマンド印刷機及び印刷機を更新し、生産性を向上させました。

【施設整備状況】

(単位：千円)

施設・設備整備計画		施設・設備整備状況	
物件名（購入・工事）	金額	物件名（購入・工事）	金額
第1期（4～6月）		第1期（4～6月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第2期（7～9月）		第2期（7～9月）	
印刷機	7,500	オンデマンド機	6,655
購入等合計	7,500	購入等合計	6,655
第3期（10～12月）		第3期（10～12月）	
購入等合計	0	購入等合計	0
第4期（1～3月）		第4期（1～3月）	
		印刷機	7,429
購入等合計	0	購入等合計	7,429

2 駐車場その他不動産に関する事業経営

下記の事業を行い、510万円を本部へ繰入ました。

【経営状況】

- 富士見町駐車場**
旧サンホーム跡地を活用し、駐車場として経営を行いました。
- 原町ホーム土地賃貸業**
原町ホーム東側外構の一部を隣接マンション緑地帯として有償貸与しました。
- 昭島病院駐車場**
昭島病院の東側敷地を活用し、時間貸しの駐車場として経営を行いました。

7 社会貢献事業

1. 事業内容 昭島市社会福祉協議会と連携して市内の生活困窮家庭のこどもの学習支援を行いました。

場 所 特別養護老人ホーム フジホーム いこいの広場
開催日 日曜日 13時～15時 年間24回
対象者 小学4年生～中学3年生 20名
講 師 職員、学生等(ボランティア)

《実績》

参加者延べ人数

こども 270名(1回 最大16名 平均9名)

ボランティア 279名(1回 最大14名 平均12名)

*中学3年生1名 都立高校入学

8 人材育成事業

事業内容 介護職員初任者研修(通信)

介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得し、雇用の拡大、介護福祉士を目指す人材の育成を目的とし初任者研修を行いました。

期 間 平成27年9月～12月

内 容 自宅学習 40時間、面接事業 78時間(約15日間)

施設実習 12時間 介護実習8時間、同行訪問4時間

受講者 9名

会 場 原町高齢者複合施設 地域交流室(新宿区原町3-84)

三 職員福利厚生制度

本年度の職員福利厚生事業は下記のように実施しました。

1 永年勤続者表彰

10年勤続者 11名 20年勤続者 6名 30年勤続者 4名

定年退職者表彰（定年退職前勤続10年以上の職員対象）

13名

2 人間ドック健診助成の実施

40歳、50歳 受診 23名 60歳 受診 1名

婦人科検診助成の実施（35歳以上の女性職員対象）

乳がん検診 受診 377名 子宮がん検診 受診 329名

3 福利厚生センター事業の利用

ソウエルクラブ 年間加入 1種職員 840名
2種職員 165名
計 1,005名

4 職員メンタルヘルスケアへの取り組み

EPA（従業員支援プログラム） 21年7月～

職員ならびに家族（同居）、退職者・復帰者への支援カウンセリングの実施

相談件数 95件 利用者延数 104名

精神科産業医による退職者及び病欠者の個別相談（平成27年1月～）

相談件数 5件 相談者延人数 35名

5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260

定員 19名（職員園児 15名、昭島市内園児 4名）

保育時間 7時30分～20時30分

0歳（6カ月）から小学校就学前までの職員の児童を預かり保育

月極保育利用 年間延べ 103名

一時保育利用 年間延べ 44名

四 理事会及び評議員会

定款の定めにより、下記の理事会、評議員会を開催しました。

1 理事会

- ア 第1回 平成27年5月27日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、上原淳、
神田祐一（書面出席者：多久島耕治、橋本泰子）9名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、
長沼昭島病院事務長
議 事：平成26年度事業報告、平成26年度決算報告、施設長等人事
- イ 第2回 平成27年8月5日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、
神田祐一（書面出席者：多久島耕治、上原淳）9名
監事：鈴木道生、1名
欠席監事：岩井令雄 1名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
長沼昭島病院事務長
議 事：平成27年度第1次補正予算、双葉園改修工事、施設長人事
- ウ 第3回 平成27年9月24日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、
上原淳、神田祐一（書面出席者：橋本泰子）9名
監事：鈴木道生 1名
欠席監事：岩井令雄 1名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：双葉園改修工事の入札結果及び契約
- エ 第4回 平成27年10月21日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、橋本泰子、原山陽一、森谷順蔵、
品川卓正、上原淳、神田祐一（書面出席者：多久島耕治）9名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長

議 事：平成 27 年度第 2 次補正予算、特定個人情報取扱規程制定、就業規則一部改正、臨時職員就業規則一部改正、昭島病院就業規則一部改正、昭島病院臨時職員就業規則一部改正、事業局就業規則一部改正、事業局臨時職員就業規則一部改正、管理規程並びに運営規程一部改正、施設長等人事

才 第 5 回 平成 28 年 1 月 27 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、多久島耕治、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、神田祐一 7 名
欠席者：橋本泰子、上原淳 2 名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2 名
その他：中島総務部長、金田施設部長
議 事：（仮称）昭和郷高齢者複合施設建設工事の契約方法等、みなと保育園耐震改修工事の契約方法等

力 第 6 回 平成 28 年 2 月 17 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、上原淳水谷貞子 7 名
欠席者：多久島耕治、橋本泰子 2 名
監事：岩井令雄 1 名
欠席監事：鈴木道生、1 名
その他：神田企画部長、中島総務部長、金田施設部長
山川昭島病院事務長
議 事：平成 27 年度第 3 次補正予算、運営規程一部改正（立川福祉作業所）、平成 28 年度東京都施設整備補助事業申告（ゆたか苑大規模修繕工事）施設長等人事

キ 第 7 回 平成 28 年 3 月 23 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：牧野洋一、菅原眞廣、原山陽一、森谷順蔵、品川卓正、上原淳水谷貞子 7 名
欠席者：多久島耕治、橋本泰子 2 名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2 名
その他：神田企画部長、中島総務部長、金田施設部長
山川昭島病院事務長
議 事：平成 28 年度事業計画、平成 28 年度予算、定款一部改正、経理規程一部改正、就業規則一部改正、給与規程一部改正、再雇用職員就業規則

一部改正、臨時職員就業規則一部改正、運営規程制定廃止及び一部改正（保育所、特養施設、障害者施設等）

※ 理事及び監事一覧（任期：平成 28 年 5 月 29 日まで）

理事長 牧野 洋一 常務理事 菅原 眞廣 理事 多久島 耕治
理事 橋本 泰子 理事 原山 陽一 理事 森谷 順蔵
理事 品川 卓正 理事 上原 淳 理事 神田 祐一（2/16 退）
水谷貞子（2/17 就） 監事 鈴木 道生 監事 岩井 令雄

2 評議員会

- ア 第 1 回 平成 27 年 5 月 27 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、本山美八郎、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、五十嵐力平 戸塚洋子、田中紀久子、六本木尚、林美枝、水谷貞子、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 19 名
監事：鈴木道生、岩井令雄 2 名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長、長沼昭島病院事務長
議 事：平成 26 年度事業報告、平成 26 年度決算報告
- イ 第 2 回 平成 27 年 10 月 21 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、田中幸子、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、五十嵐力平、六本木尚、林美枝、水谷貞子、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 17 名
欠席者：本山美八郎、田中紀久子 2 名
監事：鈴木道生 岩井令雄 2 名
その他：山川企画部長、中島総務部長、金田施設部長
議 事：平成 27 年度第 2 次補正予算
- ウ 第 3 回 平成 28 年 2 月 17 日 於：原町高齢者複合施設 会議室
出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、田中幸子、本山美八郎、川向良和、飯山幸雄、比留間由真、堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、五十嵐力平、六本木尚、林美枝、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 17 名
欠席者：田中紀久子 1 名
監事：岩井令雄 1 名

欠席監事：鈴木道生 1名

その他：神田企画部長、中島総務部長、金田施設部長

山川昭島病院事務長

議 事：平成 27 年度第 3 次補正予算、理事選任

エ 第 4 回 平成 28 年 3 月 23 日 於：原町高齢者複合施設 会議室

出席者：坂井利夫、古屋正義、小山寿、田中幸子、川向良和、比留間由真、

堀茂、岡橋生幸、戸塚洋子、五十嵐力平、田中紀久子、六本木尚、

林美枝、池田康子、牧野洋一、菅原眞廣 16名

欠席者：本山美八郎、飯山幸雄 2名

監事：鈴木道生 岩井令雄 2名

その他：神田企画部長、中島総務部長、金田施設部長

山川昭島病院事務長

議 事：平成 28 年度事業計画、平成 28 年度予算、定款一部変更

※ 評議員一覧（任期：平成 28 年 5 月 29 日まで）

坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	本山美八郎
田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄	比留間由真
堀 茂	岡橋 生幸	戸塚 洋子	田中紀久子
五十嵐力平	六本木 尚	水谷 貞子 (2/16 退)	林 美枝
池田 康子	牧野 洋一	菅原 眞廣	

五 施設長会議及び各種委員会

1 施設長会議

原則として、毎月第一水曜日に、事務局からの報告、連絡及び提案等の協議を行うための施設長会を開催しました。

- ア 4月 平成27年4月7日（火） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 役員会（27.3.25）報告
 - ・ 26年度2月分 月次実績報告
 - ・ 各委員会・各グループ報告
- イ 5月 平成27年5月13日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 26年度3月分 月次実績報告
 - ・ キャリアアップ助成金について
 - ・ 各委員会・各グループ報告
- ウ 6月 平成27年6月3日（水） 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 役員会（27.5.27）報告
 - ・ 4月分 月次実績報告
 - ・ 賞与（夏季）支給について
 - ・ カウンセリングサービス（アドバンテッジ相談センター）
利用案内について
 - ・ 27年度 永年勤続表彰予定者について
 - ・ 社会貢献事業 学習支援進捗報告
 - ・ 各委員会・各グループ報告
- エ 7月 平成27年7月1日（水） 於：京王プラザホテル新宿43階
「ムーンライト」
- ・ 5月分 月次実績報告
 - ・ 職員採用状況について
 - ・ ストレスチェック日程について
 - ・ 海外研修について
 - ・ 一括購買システム「アスクル（ソロエルアリーナ）」について
 - ・ 各委員会・各グループ報告

- オ 9月 平成27年9月9日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 7月分 月次実績報告
 - ・ 27年度 第二次補正予算 法人経費按分について
 - ・ マイナンバー制度の開始に伴うマイナンバー登録事務について
 - ・ マイナンバー制度の開始に伴う扶養家族の登録事務について
 - ・ 定期健診後の産業医からの意見聴取について
 - ・ 27年度 永年勤続表彰式について
 - ・ 27年度 東京都財政援助団体等監査(監査予定日程)について
 - ・ 各委員会・各グループ報告

- カ 10月 平成27年10月7日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 8月分 月次実績報告
 - ・ 職員採用状況について
 - ・ 27年度 理事長視察予定について
 - ・ リスクマネジメント委員会設置について
 - ・ 各委員会・各グループ報告

- キ 11月 平成27年11月4日(水) 於：新宿NSビル 3-J会議室
- ・ 役員会(27.10.21)報告
 - ・ 9月分 月次実績報告
 - ・ 賞与(冬期)支給について
 - ・ キャリアアップ助成金の概要について
 - ・ 27年度 職員採用 契約職員から正規職員への転換について
 - ・ マイナンバー収集・保管方法について
 - ・ 27年度 委員会名簿(11月以降)について
 - ・ 特定個人情報取扱規程の制定及び関連規定の一部改正について
 - ・ 各委員会・各グループ報告

- ク 12月 平成27年12月2日(水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 10月分 月次実績報告
 - ・ 職員採用状況について
 - ・ 年末年始における施設運営管理について
 - ・ 各委員会・各グループ報告

- ケ 1月 平成28年1月6日(水) 於：新宿野村ビル50F

「新宿 土佐料理 ねぼけ」

- ・ 11 月分 月次実績報告
- ・ 職員採用状況について
- ・ 立川福祉作業所・仮称) 拝島保育園 進捗状況
- ・ 昭和郷複合施設 今後の計画について
- ・ 各委員会・各グループ報告

コ 2 月 平成 28 年 2 月 3 日 (水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室

- ・ 役員会 (28.1.27) 報告
- ・ 12 月分 月次実績報告
- ・ 職員採用状況について
- ・ 各委員会・各グループ報告

サ 3 月 平成 28 年 3 月 2 日 (水) 於：原町高齢者複合施設 地域交流室

- ・ 役員会 (28.2.17) 報告
- ・ 1 月分 月次実績報告
- ・ 職員採用状況について
- ・ キャリアアップ助成金 (正規雇用等転換コース) 申請状況
- ・ 辞令交付式の日程について
- ・ 各委員会・各グループ報告

2 各種委員会

平成 27 年度事業計画の定めにより、下記の委員会を設け業務を遂行しました。

(1) 総合企画委員会

平成 27 年 4 月～27 年 10 月

委員： ○山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄
池田 康子 林 美枝 神田 祐一
水谷 貞子 長沼 君夫

平成 27 年 11 月以降 (施設長異動等により以下体制に変更)

委員： ○神田 祐一 中島 昭 金田 幸雄
池田 康子 林 美枝 岡本 勝巳

水谷 貞子 山川 浩一

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議しました。総合企画会委員会については法人の重要事項について議論し、理事長へ意見を進達する機関としました。また他の委員会の所掌事務について必要な進行管理等を行いました。

ア 第1回 平成27年4月7日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 平成27年度 重点課題
 - 各グループ課題について
 - 総合企画委員会運営について
 - 研修について
 - 施設長会運営について
 - 施設部について
- ・ 26年度2月分 事業実績について
- ・ 各グループ状況報告

イ 第2回 平成27年5月13日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 26年度3月分 事業実績について
- ・ 新卒職員採用関係日程について
- ・ 27年度 民間社会福祉施設等職員海外研修・調査推薦者について
- ・ 立川福祉作業所 工事進捗報告
- ・ 仮称) 拝島駅前保育園 工事進捗報告
- ・ キャリアアップ助成金の概要について
- ・ 各グループ状況報告

ウ 第3回 平成27年6月3日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 4月分 事業実績について
- ・ 施設長 人事報告
- ・ 仮称) 拝島駅前保育園 開設準備室室長 人事報告
- ・ 賞与(夏季)支給について
- ・ 社会貢献事業 学習支援進捗報告
- ・ 各グループ状況報告

エ 第4回 平成27年7月1日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 5月分 事業実績について

- ・ 海外研修について
- ・ 職員採用状況について
- ・ 各グループ状況報告

オ 第5回 平成27年9月9日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 7月分 事業実績について
- ・ 27年度 第二次補正予算 法人経費按分について
- ・ マイナンバー制度の開始に伴うマイナンバー登録事務について
- ・ マイナンバー制度の開始に伴う扶養家族の登録事務について
- ・ 富士見町駐車場 職員利用要綱について
- ・ 定期健診後の産業医からの意見聴取について
- ・ 各グループ状況報告

カ 第6回 平成27年10月7日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 8月分 事業実績について
- ・ 職員採用状況について
- ・ リスクマネジメント委員会設置について
- ・ 各グループ状況報告

キ 第7回 平成27年11月4日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 9月分 事業実績について
- ・ 立川福祉作業所 中間就労の取り組み(社会貢献)について
- ・ 各グループ状況報告

ク 第8回 平成27年12月2日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 10月分 事業実績について
- ・ 昭島病院 経営改善に向けて
- ・ 各グループ状況報告

ケ 第9回 平成28年2月3日(水) 於：原町ホーム1階 集会室

- ・ 12月分 事業実績について
- ・ 職員採用状況について
- ・ 立川福祉作業所 工事進捗報告
- ・ 同援はいじま保育園 工事進捗報告
- ・ 各グループ状況報告

- コ 第10回 平成28年3月2日(水) 於：原町ホーム1階 集会室
- ・ 1月分 月次実績報告
 - ・ 職員採用状況について
 - ・ キャリアアップ助成金(正規雇用等転換コース)申請状況
 - ・ 辞令交付式の日程について
 - ・ 各グループ状況報告

(2) 人事委員会

委員：○菅原 眞廣 山川 浩一 中島 昭 金田 幸雄

職員の懲戒等について検討しました。

(3) 規程整備委員会

委員：○中島 昭 山川 浩一(～10月) 神田 祐一(11月～)
岡本 勝巳(～10月) 魚津 亮太(11月～) 宮本 浩史
石井 好子 福田 恭子
長沼 君夫(～10月) 山川 浩一(11月～) 品川 克美

法人の組織、人事、給与、及びその他諸制度に関する規程について検討し整備しました。

- ア 第1回 平成27年4月24日 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 平成27年度規程整備委員会の活動計画について
 - ・ 平成27年度の検討課題について
- イ 第2回 平成27年6月26日 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 65歳までの雇用について
 - ・ 再雇用制度と定年延長との比較
- ウ 第3回 平成27年7月27日 於：原町高齢者複合施設 地域交流室
- ・ 65歳までの雇用について
 - ・ 高年齢雇用継続給付の実態調査

・ 65 歳までの雇用に関する他法人の実態調査

エ 第 4 回 平成 27 年 9 月 25 日 於：昭島病院会議室

- ・ 再雇用職員の給与等実態調査
- ・ 定年前及び再雇用後の給与比較調査

オ 第 5 回 平成 27 年 11 月 27 日 於：昭島病院会議室

- ・ 就業規則の休職規程見直し
- ・ 副施設長の管理職手当の見直し
- ・ 再雇用職員職種別給料表の見直し
- ・ 臨時職員の正規転換要件の緩和

カ 第 6 回 平成 27 年 12 月 18 日 於：昭島病院会議室

- ・ 各規程見直しに伴う影響額調査
- ・ 給与規程の扶養手当の見直し（子ども教育手当の見直しを含む）
- ・ 出産休暇の改善、資格取得奨励金の源泉徴収、夜勤手当増額

キ 第 7 回 平成 28 年 1 月 28 日 於：昭島病院会議室

- ・ 役員会提案案件の絞り込み及び改正に伴う人件費の見積り

ク 第 8 回 平成 28 年 2 月 18 日 於：昭島病院会議室

- ・ 各規程改正内容の確認

ケ 第 9 回 平成 28 年 3 月 7 日 於：昭島病院会議室

- ・ 各規程改正について、役員会提案内容の確認
 - 就業規則（休職事由及び休職期間の改正、出産休暇期間の改正等）
 - 給与規程（管理職手当の改正、特殊業務手当の改正、職務手当の支給範囲の拡大、夜勤手当の改正、扶養手当の改正等）
 - 臨時職員就業規則（正規転換要件の改正等）
 - 再雇用職員就業規則（職種別給料表の改正等）

(4) 職員研修委員会

委員： 中島 昭

○鎌田 弘道 南山 徳英 魚津 亮太
浅見 文隆 小堀 和子 阿部 英子
荒井 隆夫 山中 誠一 田代 秀之

法人職員の研修に関し企画、実施しました。

① 委員会開催状況

- ア 第1回 平成27年4月10日 於 原町高齢者複合施設（地域交流室）
- ・研修委員会年次計画及び役割分担 ・福祉サービス研究発表会の在り方検討
 - ・基礎研修、チューター研修の内容・進捗状況（インソース）
 - ・メンタルヘルス研修の内容・進捗状況（アドバンテッジ・リスクマネジメント）
 - ・海外研修の申込先団体の検討、申込者の選定・推薦に関して
- イ 第2回 平成27年5月8日 於 原町高齢者複合施設（地域交流室）
- ・プレゼンテーション能力向上研修の内容・進捗状況（クレスコパートナーズ）
 - ・副施設長及び管理職候補者研修の内容・進捗状況確認（ビジネスコンサルタント）
 - ・主任、副主任研修の内容・進捗状況の確認（ビジネスコンサルタント）
 - ・基礎研修、チューター研修、メンタルヘルス研修の実施報告について
 - ・社会福祉振興・試験センターへの海外研修申込者の検討
- ウ 第3回 平成27年6月12日 於 原町高齢者複合施設（地域交流室）
- ・中堅研修の内容・進捗状況確認（インソース） ・チューター研修の実施報告
 - ・施設長・管理職等研修の講師依頼に関して（スポーツドクター 辻 秀一 氏）
 - ・福祉サービス研究発表会のアンケート集計の検討
- エ 第4回 平成27年7月10日 於 原町高齢者複合施設（地域交流室）
- ・平成27年度「管理職候補者研修」、プレゼンテーション能力向上研修の実施報告
 - ・中堅研修の実施報告
 - ・ハラスメント研修の内容・進捗確認（アドバンテッジ・リスクマネジメント）
 - ・福祉サービス研究発表会のアンケート集計の検討
- オ 第5回 平成27年9月11日 於 原町高齢者複合施設（地域交流室）
- ・新任フォローアップ研修の内容・進捗状況の確認（クレスコパートナーズ）
 - ・施設長及び管理職等研修の内容・進捗状況の確認
 - ・副施設長及び管理職候補者研修、主任副主任研修の進捗状況の確認
 - ・ハラスメント研修の実施報告

- ・福祉サービス研究発表会の各支援系グループアンケートに関して
- カ 第6回 平成27年10月15日 於 (仮設)立川福祉作業所
 - ・副施設長・管理職候補者研修の実施報告
 - ・主任副主任研修、新任フォローアップ研修、施設長及び管理職等研修の進捗状況
 - ・福祉サービス研究発表会の在り方に関するグループ意見の検討
 - ・次年度の研修計画・企画提案プレゼンテーションの実施報告
- キ 第7回 平成27年11月13日 於 原町ホーム(集会室)
 - ・新任フォローアップ研修、主任副主任研修、施設長及び管理職等研修の実施報告
 - ・次年度の研修に関して、研修項目・時期・研修委託先・会場等の検討
 - ・福祉サービス研究発表会の在り方に関するグループ意見の検討
- ク 第8回 平成27年12月11日 於 原町高齢者複合施設(地域交流室)
 - ・研修委託先候補2社による研修企画提案プレゼンテーションを実施
(インソース、ビジネスコンサルタント)
 - ・施設長及び管理職等研修の目的と手段の再検討
 - ・メンタルヘルス研修の開催頻度・日程の調整 ・研修実施会場の検討
- ケ 第9回 平成27年12月16日 於 原町高齢者複合施設(地域交流室)
 - ・研修委託先候補社による研修企画提案プレゼンテーションを実施
(クレスコパートナーズ)
- コ 第10回 平成28年1月15日 於 原町高齢者複合施設(地域交流室)
 - ・リスクマネジメント研修、新任研修の内容・進捗状況、職員の役割分担等の確認
 - ・次年度の研修計画骨子及び研修委託業者の配分について
 - ・2月の施設長会第2部の議案に関して
- サ 第11回 平成28年2月19日 於 サンホーム(サークル室)
 - ・新任研修の役割分担、事前準備等の進捗状況の確認
 - ・平成27年度「職員研修計画」の内容確認
 - ・福祉サービス研究発表会及び海外研修の方向性に関して
- シ 第12回 平成28年3月18日 於 原町高齢者複合施設(地域交流室)
 - ・新任研修の実施報告 ・海外研修要綱の見直しに関して
 - ・次年度の施設長及び管理職等研修の講師候補者(弁護士 中井 智子 氏)
 - ・今後の福祉サービス研究発表会の名称・目的・実施時期・参加対象者等に関して

② 研修実施状況

平成 27 年度 法人としての全体研修実施状況報告

実施日	研 修 名	目 的
平成 27 年 4 月 24 日	メンタルヘルス研修 (平成 27 年度新規採用正規職員) H27.4.24 (金) 14:00~16:30 ・メンタルヘルスの基礎知識 (日本の現状) ・相談を受ける技術・雰囲気の話術 ・安全配慮義務、ストレス発散方法 ・疲れた心のリセット方法 参加者 56 名 講 師 (株)アドバンテッジリスクマネジメント 鬼頭 幸三 氏	・メンタルヘルスに関する基礎知識・事例・演習を通して、具体的なセルフコントロール方法を習得する。
5 月 22 日	基礎研修 (経験年数 1~3 年) H27.5.22 (金) 10:00~17:00 ・組織におけるコミュニケーションとは ・コミュニケーションのスタートライン ・「聴く」スキル=「傾聴力」のポイント ・「訊く」スキル=「質問力」のポイント ・「話す」スキルのポイント ・「ホウ・レン・ソウ」 ・利用者の権利擁護 ・研修を振り返って 参加者 33 名 講 師 (株)インソース 菅原 敦子 氏	・プライベートでのコミュニケーションとビジネスにおけるコミュニケーションの違いを認識、ビジネスコミュニケーションに求められるマインドを認識する。 ・言葉によるコミュニケーションだけではなく、第一印象など、言葉によらないコミュニケーションを含めた包括的なコミュニケーションスキルを習得する。
6 月 5 日	課題別 「チューター研修」 (OJT 担当者) H27.6.5 (木) 10:00~17:00 ・若手の立場に立った OJT とは何か ・OJT の全体像を把握した育成計画の作成 ・OJT の進め方 (指示・報告・相談) ・効果的なほめ方、叱り方を理解する ・不平、不満の受け止め方 参加者 34 名	・チューターとして OJT の意義を理解し、育成計画の策定方法を学ぶ。 ・「3 ヶ月間の育成計画」を立て、OJT に役立てる。 ・仕事の仕方・ほめ方・叱り方等、具体的な進め方を習得する。

<p>6月26日</p>	<p>講師 (株)インソース 大西 雄一 氏 課題別 「プレゼンテーション能力向上研修」 (一般職員) H27.6.26 (金) 10:00~17:00 ・プレゼンテーションの基本と目的を明確化 ・プレゼンテーションスキル (伝え方) ・第1印象、ボディランゲージ・表情 ・効果的なまとめ方とビジュアルツール ・パーソナリティの重要性 参加者 24名 講師 (株)クレスコ・パートナーズ 若林 郁代 氏 (他2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内外との情報の共有化を図り、他職種連携を円滑にするコミュニケーションスキル及び、発表などでのプレゼンテーションスキルの向上を図る。 ・聴衆の興味を引き付ける話法、表現方法を身に付け、福祉サービス研究発表を踏まえたプレゼンテーションの実践力を養う。
<p>7月10日</p>	<p>中堅職員研修 (経験年数5年程度) H27.7.10 (金) 10:00~17:00 ・中堅職員に求められる役割 ・フォロワーの基本、上司と現場をつなぐ ・リーダーとしてのコミュニケーション力 ・仕事の管理、リスク管理 ・ビジョンの方向性を合わせる ・利用者の権利擁護 参加者 26名 講師 (株)インソース 船橋 竜太郎 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員に求められる3つのスキル (コミュニケーションスキル・仕事の管理能力・リスクマネジメント) を強化する。 ・自己理解を深め、対人関係能力向上の啓発ポイントを見出し、自己に期待される役割を理解して、アクションプランを作成する。
<p>9月4日</p>	<p>ハラスメント研修 (現場リーダー層・平成27年度管理職候補等) H27.9.4 (金) 13:30~16:30 ・日本におけるハラスメントの現状 ・パワーハラスメントの基礎知識 ・パワーハラスメントを防ぐための部下の指導法 ・アンガーマネジメントの手法を身に着ける ・ハラスメントへの対応 (被害・相談) 参加者 34名 講師 (株)アドバンテッジリスクマネジメント 鬼頭 幸三 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの理解、適切な指導、伝え方を学ぶ。 ・パワーハラスメントの基礎知識、部下への指導方法を通して、アンガーマネジメントの手法を習得する。

<p>9月25日</p>	<p>副施設長および管理職候補者研修 H27.9.25 (金) 10:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LIFOの事前診断、利用者の権利擁護 ・問題解決のステップとポイント ・自職場の健康診断（自己分析・他者共有） ・マニュアルとサービスのバランス <p>参加者 22名 講師 (株)ビジネス・コンサルタント 古賀 伸一郎 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に求められる思考態度とスキルを啓発する。 ・問題解決の基本ステップを理解する。 ・自職場の課題設定と解決策を立案する。 ・ゴール設定と解決策を立案する。
<p>10月16日</p>	<p>新任フォローアップ研修 (平成27年度新規採用正規職員) H27.10.16 (金) 9:30~16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く力、訊く力（傾聴姿勢） ・考える力（情報の分類、優先順位） ・伝える力（信頼されるボディランゲージ） <p>参加者 55名 講師 (株)クレスコ・パートナーズ 内藤 京子 氏 (他2名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配属後半年間の職場環境を振り返り、現状の自分自身の棚卸を行なうとともに、改めて次のステップの目標を設定する。 ・自分が目指すビジネスパーソン像を考える。 ・コミュニケーションの3つの力を身に着ける。
<p>10月30日</p>	<p>主任・副主任研修 H27.10.30 (金) 10:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の権利擁護 ・チームリーダーに求められる能力 ・マネジメントの2大機能とサイクル ・管理の機能（コンテンツとプロセス） ・環境の変化と動向（チームミッション） <p>参加者 33名 講師 (株)ビジネス・コンサルタント 古賀 伸一郎 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンターの役割を認識し、自己の対人関係上の強みと啓発点を理解する。 ・相談内容を引き出す「聞く力」「質問する力」を養う。
<p>11月4日</p>	<p>施設長及び管理職等研修 H27.11.4 (水) 15:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Flowな価値を考える（心・技・体） ・今に生きることを考える ・フローパーソンのリーダー育成、社風・風土 <p>参加者 45名 講師 (株)エミネクロス代表 スポーツドクター 辻 秀一 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な施設運営の役割を果たす管理職として、解決困難な状況が発生した場合、パフォーマンスを最大化する心の状態を学ぶ。 ・困難に立ち向かう、強くなやかな心の創り方（思考力）を学ぶ

<p>平成 28 年 2 月 19 日</p>	<p>課題別 「リスクマネジメント研修」 (主任・副主任・リーダー・相談窓口者等) H28.2.19 (金) 10:00~17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの全体像 ・リスクの予測と評価、対策の策定 ・組織的にリスク管理を行なうポイント <p>参加者 28 名 講師 (株)インソース 古木 孝典 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの必要性を学ぶ。 ・リスクマネジメントの定義を理解して適切な対応と対策を学び、各施設における組織的な取り組みを行なう。
<p>3 月 3 日 3 月 4 日</p>	<p>新任職員研修 (新任採用者及び準ずる者) H28.3.3 (木) 9:30~16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスパーソンとしての意識を持つ ・コミュニケーションとしてマナーの重要性 ・電話応対スキルの基本習得 ・利用者の権利擁護 <p>参加者 44 名</p> <p>H28.3.4 (金) 9:30~16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の進め方、報告力を鍛える ・来客対応、訪問マナーの習得 ・ビジネスシーンを想定した実践 <p>参加者 42 名 講師 (株)クレスコ・パートナーズ 栗原 道子 氏 (他 2 名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生からビジネスパーソンへの意識変革を図り、基礎力を徹底習得する。 ・基礎力を定着させ、応用力を身につける。 ・基本的人権として、利用者の権利擁護を理解する。
<p>平成 27 年 海外研修</p>	<p>公益財団法人 社会福祉振興・試験センター 保育施設 主任保育士 1 名 (ドイツ・デンマーク) H27.8.30~9.11 (13 日間)</p> <p>障害者施設 生活支援員 1 名 (スウェーデン・デンマーク) H27.9.5~9.19 (15 日間)</p> <p>高齢者施設 生活相談員 1 名 (アメリカ) H27.9.26~10.10 (15 日間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の支援に直接従事している中堅的職員を諸外国へ派遣し、その国における福祉サービス及び在宅サービスの内容、方法、技術などについて実地に研修、調査を行ない、利用者支援及び施設運営の向上を図る。

平成 27 年度 グループ別研修実施状況報告

1 グループ名 高齢者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成 27 年 8 月 26 日	「看取り研修」 参加者 50 名 講師 医療法人社団愛優会 ドクター 高野真一郎 氏	「これ」だけは知っておきたい高齢者ケアにおける命を守る知識と技術。施設での看取りを実施するために知っておかなければならないことを医療者の視点で解説いただく。
10 月 9 日	新任職員「フレッシュマン」研修 参加者 23 名 講師 原町ホーム 河野雄太他	入職から 6 ヶ月を振り返り、業務を遂行する中で問題となったところ、悩んだこと、あるいは成功体験などを指導的職員・先輩職員と共有し、課題解決を行い、同胞援護会職員としての意識や絆を深め、更なる成長を促していく。
11 月 20 日	「外部研修」 (介護職員のストレス対策) 参加者 12 名 講師 介護労働安定センター 小倉千尋 氏	介護現場では様々なストレスが発生する。そのような際に介護職員としてどのように対応し、発散していかなければならないかを理解することで、モチベーションの維持・向上に繋げる。

<p>9月29日 ～ 12月18日</p>	<p>「介護職員初任者研修」 参加者 9名 研修カリキュラム【合計130時間】</p>	<p>介護職員としての基礎的な知識の習得から、サービスを向上させていく上での心構え、技術等を学び継続して介護業務に活かしていく。</p>
	<p>「講義」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職務の理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 3 介護の基本 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5 介護におけるコミュニケーション技術 6 老化の理解 7 認知症の理解 8 障がいの理解 9 ココロとからだの仕組みと生活支援技術 10 振り返り <p>「実習」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護実習 2 ホームヘルプサービス同行訪問 3 在宅サービス提供現場見学 <p>「講師」</p> <p>池田清彦 魚津亮太 浅見文隆 近藤せつ子 浅見友博 河野雄太 長谷川修平 橋本孝子 山脇啓子 栗原百恵 小林あゆみ 深澤あゆみ</p>	
<p>平成28年 2月4日 ～ 2月29日</p>	<p>施設間交換研修 昭島荘→ ニューフジホーム 2名 延べ13日</p>	<p>他施設の業務を経験することで、自施設に於けるサービスの振り返りや今後のグループを担っていくコア人材を育成する。</p>

3月11日	新任職員「フォローアップ研修」 参加者 16名 講師 ひかり苑 吉田正人他 東村山社協職員	新任職員への年間を通じた振り返りと実際に身体を使いレクリエーション、高齢者体験等を行うことで利用者に寄り添える介護が実践できることを目指す。
3月26日	「地域交流会」 講師 昭島病院 綿谷理学療法士 他4名 参加者 43名	地域住民や民生委員・医療・福祉の担当者との懇談を通じ、高齢者が安心して生活出来るような街づくりが出来るようなネットワーク作りを進めていく。

2 グループ名 障害者支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成27年 6月6日	新任職員研修 3回連続講座 「基本的ビジネスマナーを身につける 講師 小原智恵美 氏 H27.6.6 (土) 9:30~16:00 自己の印象管理と基本マナーを学ぶ。 (現状把握と基本五原則の理解) 参加者 23名	・基本的なビジネスマナーを習得し、接遇の向上を目指す。また、支援の向上と安定した人材確保につなげる。
7月4日	H27.7.4 (土) 9:30~16:00 電話対応・訪問・対応の基本を学ぶ。 参加者 21名	
8月8日	H27.8.8 (土) 9:30~16:30 仕事の進め方、交流分析、コミュニケーションサイクルを学ぶ。クレーム対応と報告の仕方を学ぶ 参加者 21名 参加者 延べ65名	

11月6日	障害グループの施設見学と事業理解（新任職員） H27.11.6（金） 9：00～17：30 各施設を見学し、グループの事業を理解する。また、着任半年の振り返りを行い、虐待防止チェックリストによる支援の検証を行う。 参加者 18名	・新任職員が各施設の事業を理解する。 ・人権侵害について、日々の支援を振り返り、人権意識を高める。
平成28年 1月～2月	人事交流研修（法人内施設実習） 主任、副主任レベルの職員が他施設を数日実習し、事業理解と運営について学ぶ。 参加者 9名 6施設	・法人内の他施設の事業を理解し、今後の基幹職員の育成を行う。
平成28年 2月9日	全体職員研修 H28.2.9（金） 18：00～20：00 1部 海外研修報告 報告者 内田 憲（さいわい福祉センター） 2部 障害者差別解消法の理解 講師 東京都保健局障害者施策推進部 渡辺 昌則 氏 参加者 90名	・法人初の海外研修参加者より北欧の障害者福祉の実情を学ぶ。 ・平成28年4月施行の障害者差別解消法の理解を深め、合理的配慮や差別の解消に取り組む。

3 グループ名 保育支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成27年 4月11日	H27.4.11（土）9：30～11：30 講演 「保育現場のリスクマネジメントを学ぶ」 参加者 143名 講師 (株)アイギス 代表取締役 脇 貴志 氏	・新制度移行後に施設に求められる危機管理を学ぶ。 ・職員がリスクに対しての共通理解を持つ。
5月25日 6月22日 11月10日	H27.5.25（月）13：45～16：15 H27.6.22（月）13：45～16：15 H27.11.10（火）13：45～16：15 「育成プランの見える化とその手法」 参加者 各園2名 計16名	・保育グループに於ける入職から3年目までの保育士育成計画を作成する。 ・職員に学ぶ指標を明示することにより、職員の定着と早期の戦力化の仕組み作りに向けて、

	講師 保育ORG 高橋 秀司 氏	誰にでもわかる具体的到達目標を明確に示すラダー表を作成する。
10月24日	H27.10.24(土) 9:30~11:30 「子ども・子育て支援新制度と これからの保育の方向性」 参加者 128名 講師 白梅学園大学 学長 汐見 稔幸 氏	・「子ども・子育て支援新制度」が施行後半年が過ぎ、見えてきた課題と共にこれからの子どもに携わる施設においてどのような保育を目指していけばよいのか研修を通し学ぶ。

4 グループ名 児童・女性支援系

実施月	研 修 名	目 的
平成27年 5月27日	「接遇マナー研修」 参加者 7名 講師 有賀 雅子 氏	・福祉施設職員とし働く心構え、サービスマナー、対人コミュニケーションスキルを学び、相手の立場に立った生きた接遇を身に着け、利用者サービスの向上につなげる。
7月22日	「主任・副主任研修」 「ストレスマネジメント研修」 参加者 13名 講師 (株)エミネクロス代表 辻 修一 氏 (スポーツドクター)	・日常ストレスと感ずる事象に対する、負の捉え方を認識し無理なく受け流す施行を理解実践する基礎を学ぶ。
10月2日	「支援力向上研修」 参加者 8名 講師 あさくさばしファミリーカウンセリング ルーム 室長 野口 洋一 氏	・利用者の見立てをすることで、その後の支援方法が明確になることから、見立ての講義と各施設の事例を通して見立てとその後の支援について研修した。

11月30日	「発達障害研修」 参加者 15名 講師 東京都東大和療育センター 曾根 翠 氏	発達障害とは何か、治療と支援の受け方、家族の抱える問題等具体的な対応について学んだ。
4月～3月	平成27年4月～平成28年3月 「記録の取り方検討会」 検討委員 12名 アドバイザー 田園調布学園大学人間福祉学部 社会福祉学科教授 村井 祐一 氏	・記録の取り方マニュアルを平成27年4月より運用、来年度に活用状況や更新に向けたアンケート調査を実施した。
4月～3月	平成27年4月～平成28年3月 「グループ内施設交流研修」(3日間) 「法人間職員交流研修」	・他施設、他法人との交流を行うことで、業種の理解を深めると共に、職員の視野を広げ資質向上を図る。

(5) 広報委員会

委員 山川 浩一 (4月～10月) 中島 昭 (11月～3月)

○工藤 かおる 池田 清彦 飯島 一憲 唐澤 江里子 森 浩美
小金澤 康哲 川畑 亮介 長谷部 重行 金子 敦子

同援通信編集委員 濱野 亜希子 南 多恵子 三浦 和枝 青木 まどか
小原 マリアンヌ

平成27年度広報委員会開催記録

月 日	会議名	内 容	場 所
4月20日(月)	第1回広報委員会	平成27年度活動予定 同援だより盛夏号(175号) について	同援さくら保育園
4月30日(木)	第1回通信委員会	同援通信22号について 新任職員アンケート	原町ホーム
5月19日(火)	第2回広報委員会	同援通信22号について	原町ホーム
6月5日(金)	第2回広報委員会	同援だより盛夏号校正	事業局
6月16日(火)	第3回広報委員会	同援だより盛夏号校正	事業局

7月6日(月)	第4回広報委員会	同援だより盛夏号校正	事業局
9月8日(火)	第3回通信委員会	同援通信23号 永年勤続者取材について	原町ホーム
10月29日(木)	第4回通信委員会	同援通信23号校正	さくらんぼ
10月30日(金)	第5回広報委員会	同援だより新春号(176号) について	事業局
11月25日(水)	第6回広報委員会	同援だより新春号校正	事業局
12月3日(木)	第7回広報委員会	同援だより新春号校正	事業局
12月10日(水)	第8回広報委員会	同援だより新春号校正	事業局
12月17日(木)	第9回広報委員会	同援だより新春号校正 新任職員アンケートについて	事業局
12月17日(木)	第5回広報委員会	同援通信24号について	むさしの保育園
1月21日(木)	第6回通信委員会	同援通信24号校正	原町ホーム
2月17日(水)	第7回通信委員会	同援通信24号校正	サンライズ青山
3月7日(水)	第8回通信委員会	同援通信24号校正	事業局

同援通信取材実施記録

月 日	内 容	場 所	担当者
10月6日(火)	永年勤続者取材	立川福祉作業所	濱野、青木、小原
10月13日(火)	永年勤続者取材	昭和郷第二保育園	濱野、三浦
10月14日(月)	永年勤続者取材	原町ホーム	小原、南
10月20日(火)	永年勤続者取材	双葉園	濱野、青木
2月5日(金)	看護師取材	原町ホーム	三浦、青木
2月8日(月)	看護師取材	みなと保育園	三浦、青木、南
2月12日(金)	看護師取材	さやま園	濱野、南

同援だよりの発行 盛夏号(175号) 平成27年7月15日

新春号(176号) 平成28年1月4日

同援通信の発行 22号 平成27年5月31日

23号 平成27年11月30日

24号 平成28年3月30日

(7) 人事考課評価委員会

委員：○菅原 眞廣 中島 昭
神田 祐一 水谷 貞子 林 美枝 池田 康子

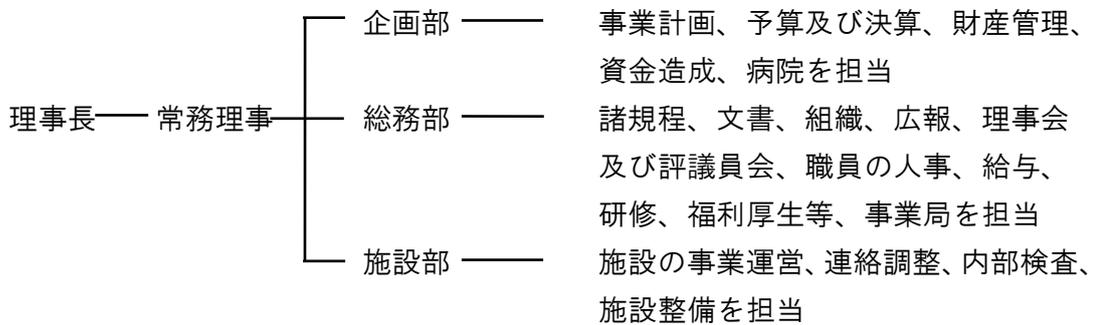
職員人事考課規程第9条に基づく職員からの異議の申出に基づき開催しました。

※ ○印は委員長

六 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図るため、企画部・総務部・施設部の三部制により業務を行いました。

1 組織



2 事業計画・予算等の総括

平成 26 年度事業報告、決算等の原案、平成 27 年度事業計画、予算及び補正予算の原案等を取りまとめ、評議員会及び理事会に提案し、承認を得ました。

3 指導検査・法人内部検査

① 東京都による指導検査

東京都による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われました。指導を受けた項目については、速やかに改善いたしました。

同援みどり保育園	6月 1日	みなと保育園	6月 9日
ゆたか苑	9月16日	ひかり苑	9月17日
万世敬老園	9月18日	双葉園	10月 1日
つつしが丘保育園	11月 2日	さやま園	11月10日
大山保育園	12月14日	いこいの家	2月19日

② 区市による指導検査

新宿区

新宿区による施設の適正運営のための指導検査は、下記により行われました。指導を受けた項目については、速やかに改善いたしました。

検査日 10月5日

対象施設・原町グループホーム・原町小規模多機能居宅介護センター・
原町デイサービスセンター

③ 東京都財政援助団体等監査

地方自治法の規定に基づき、平成25年度及び平成26年度に東京都が財政的援助を行なった団体等への監査が行われ、3施設がサービス推進費の過誤請求の指導を受け補助金の返還を行いました。

監査日 10月2日・6日・8日・9日

④ 区市による財政援助団体等監査

地方自治法の規定に基づき、区市が財政的援助を行なった団体等への監査が下記のとおり行なわれましたが、指摘を受ける事項はありませんでした。

ア、板橋区

対象事業 平成26年度板橋区民間保育所整備費補助金（大山保育園改築工事）

監査日 9月7日

イ、昭島市

対象事業 高齢者在宅サービスセンター等フジホーム建設借入金償還補助金

監査日 11月11日

⑤ 法人内部検査

経理規程及び内部検査実施要綱に基づき、事務局職員による内部検査を下記のとおり実施しました。検査員からの指摘事項は速やかに改善しました。

同援みどり保育園	5月22日	みなと保育園	5月26日
ゆたか苑	6月9日	いこいの家	6月11日
ひかり苑	6月16日	つつじが丘保育園	6月23日
同援さくら保育園	6月25日	さやま園	7月7日
大山保育園	7月9日	立川福祉作業所	7月17日
双葉園	7月24日	東村山生活実習所	7月30日
昭島病院	9月3日	万世敬老園	9月4日
昭和郷保育園	9月10日	昭和郷第二保育園	9月15日
小茂根福祉園	9月17日	サンライズ武蔵野	9月29日
フジホーム	10月1日	原町ホーム・原町高齢者複合施設	10月20日
サンホーム	10月27日	さいわい福祉センター	10月29日
サンライズ青山	11月10日	サンライズ万世	11月12日
むさしの保育園	11月17日	児童センターぱれっと	11月19日

ニューフジホーム・かえで	11月26日	ライトホーム	12月8日
昭島荘	12月10日	さくらんぼ	12月15日
事業局	12月24日		

⑥ 監事監査

監事による監査は、法人事務局並びに昭島病院・事業局について月1回定期的に監査が行われ、施設についても下記のとおり実施されました。

指摘を受ける事項は認められませんでした。助言等を運営改善に活かしました。

なお、5月16日に定款第26条の定めにより法人の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の監査が行われ、監査の結果は適正であると認められました。

利用者預り金関係 6月12日・24日

いこいの家	万世敬老園	フジホーム
ニューフジホーム	原町ホーム	ゆたか苑
ひかり苑	昭島荘	さやま園
さくらんぼ	アミニティ富士見	レヂオンス巢鴨

施設運営関係

大山保育園	7月9日	東村山生活実習所	7月30日
フジホーム	10月1日	さいわい福祉センター	10月29日
サンライズ万世	11月12日		